

平成 26 年度 全国学力・学習状況調査

# 解説資料

小学校 国語

～一人一人の児童の学力・学習状況に応じた  
学習指導の改善・充実に向けて～



平成 26 年 4 月  
国立教育政策研究所 教育課程研究センター

## 目 次

平成26年度 全国学力・学習状況調査 解説資料について	1
I 小学校国語科の調査問題作成に当たって	5
II 調査問題一覧表	9
A 主として「知識」に関する問題	10
B 主として「活用」に関する問題	11
III 調査問題の解説（出題の趣旨，解説，解答類型，学習指導に当たって等）	13
A 主として「知識」に関する問題	13
1 漢字を読んだり書いたりする	14
2 故事成語の意味と使い方を理解する	17
3 物語を創作する	19
4 新聞の投書を読む	22
5 物語の登場人物の相互関係を捉える	24
6 適切な表現にして書く	27
7 情報を関係付ける	31
8 国語辞典を使って調べる	33
B 主として「活用」に関する問題	35
1 立場や意図をはっきりさせながら討論する〈卒業文集〉	36
2 科学に関する本や文章などを効果的に読む〈動物の鼻〉	44
3 詩を比べて読む〈まど・みちお「タンポポ」「たんぽぽさんが よんだ」〉	52
IV 解答用紙（正答（例））	59
国語A	60
国語B	61
V 点字問題（抜粋）	63
点字問題（抜粋）	64
解答類型（点字問題部分）	65
巻末資料	66

# 平成26年度 全国学力・学習状況調査 解説資料について

## ◆ 目的

本資料は、平成26年度全国学力・学習状況調査の実施後、各教育委員会や学校が速やかに児童の学力や学習の状況、課題等を把握するとともに、それらを踏まえて調査対象学年及び他の学年の児童への学習指導の改善・充実等に取り組む際に役立てることができるよう作成したものです。

内容としては、教科に関する調査問題について、出題の趣旨、学習指導要領における領域・内容、解答類型、正答や予想される誤答についての解説、学習指導の改善・充実を図る際のポイント等をまとめています。

各教育委員会や学校におかれては、教育施策や学習指導の改善・充実、特に学校におかれては、調査対象となる学年の先生方をはじめ、学校全体での組織的・継続的な取組において御活用ください。

## ◆ 構成

- I 小学校国語科の調査問題作成に当たって
- II 調査問題一覧表
- III 調査問題の解説（出題の趣旨、解説、解答類型、学習指導に当たって等）
  - A 主として「知識」に関する問題
  - B 主として「活用」に関する問題
- IV 解答用紙（正答（例））
- V 点字問題（抜粋）
- 巻末資料

## ◆ 本資料の活用にあたって

### I 小学校国語科の調査問題作成に当たって

調査問題作成の基本理念、問題作成の枠組みについて解説しています。

### II 調査問題一覧表

問題の概要、出題の趣旨、関係する学習指導要領の領域等、評価の観点、問題形式を一覧表にまとめています。

I 小学校国語科の調査問題作成に当たって					
1 調査問題作成の基本理念	<p>小学校国語科の調査問題は、「全国的な学力調査の実施方法等について（趣旨）」以下、報告書という。平成26年4月、全国的な学力調査の実施方法等に関する専門審議会（調査）の調査報告書に基づいて作成する。</p> <p>出題範囲・内容については、次の二つの枠組みとする。</p> <table border="1"> <tr> <td>主として「知識」に関する問題（以下、「知識」の問題という。）</td><td>単に付けておかなければならぬ学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用されていることが望ましい知識・技能など</td></tr> <tr> <td>主として「活用」に関する問題（以下、「活用」の問題という。）</td><td>知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関する内容など</td></tr> </table> <p>この二つの枠組みから明らかにしながら、「実生活」に活用する学力が要求されている。これは、学校で学習してきた知識・技能等が、児童生徒を取り巻く様々な生活場面において、活用できるようにすることが求められているからである。</p> <p>児童生徒にとっての「実生活」は、各教科等の学習に加え、家庭生活や地域での生活を営むものである。国語の授業から考えると、読書などに親しむ生活（読書生活）、音声や文字で表現する生活（表現生活）などの言語生活を視野に入れて問題を作成する。</p> <p>なお、報告書では、調査問題自体が学校の教育や児童生徒に対して、主となる基礎的な事項を具体的に示すとともに、教員の指導改善や児童生徒の学習改善・学習意欲の向上などに役立つことを求めていることにも配慮する。</p>	主として「知識」に関する問題（以下、「知識」の問題という。）	単に付けておかなければならぬ学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用されていることが望ましい知識・技能など	主として「活用」に関する問題（以下、「活用」の問題という。）	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関する内容など
主として「知識」に関する問題（以下、「知識」の問題という。）	単に付けておかなければならぬ学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用されていることが望ましい知識・技能など				
主として「活用」に関する問題（以下、「活用」の問題という。）	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関する内容など				
2 問題作成の枠組み	<p>（1）領域等と評価の観点</p> <p>出題の範囲として、「知識」の問題及び「活用」の問題のいずれも、小学校学習指導要領国語（平成26年告示）の目標及び内容に基づき、「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」、「C 読むこと」の各領域及び（広域的な言語文化と国語の特質に関する事項）に示された指導事項をバランスよく出題する。</p> <p>調査時間が第5学年の4月であるので、第5学年の終了段階において習得すべき指導内容が出題の範囲となる。</p> <p>なお、各問題で扱う能力に関わる児童の学習状況の評価の観点として注、「読書への関心・意欲・態度」、「話す・聞く能力」、「書く能力」、「読む能力」、「言語についての知識・理解・技能」の五つの観点に基づく。</p> <p>（2）「知識」の問題の枠組み</p> <p>「知識」の問題は、第5学年の終了段階において習得すべき指導事項を重点化して出題する。調査時間は20分である。</p> <p>（3）「活用」の問題の枠組み</p> <p>「活用」の問題は、第5学年の終了段階において習得すべき指導事項を、小学校学習指導要領国語（平成26年告示）第2章第1節に示す言語活動的な活動を適切に活用して活用できるかどうかをみる。そのため、「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」、「C 読むこと」の各領域及び（広域的な言語文化と国語の特質に関する事項）に示された指導事項を複合させて出題する場合がある。調査時間は40分である。</p>				

調査問題一覧表 【小学校国語科】	
A 主として「知識」に関する問題	
問題番号	問題概要
1	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
2	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
3	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
4	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
5	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
6	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
7	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
8	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
9	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
10	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
11	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
12	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
13	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
14	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
15	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
16	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
17	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
18	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
19	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
20	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
21	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
22	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
23	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
24	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
25	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
26	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
27	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
28	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
29	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
30	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
31	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
32	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
33	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
34	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
35	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
36	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
37	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
38	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
39	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
40	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
41	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
42	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
43	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
44	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
45	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
46	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
47	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
48	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
49	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
50	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
51	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
52	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
53	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
54	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
55	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
56	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
57	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
58	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
59	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
60	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
61	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
62	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
63	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
64	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
65	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
66	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
67	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
68	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
69	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
70	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
71	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
72	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
73	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
74	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
75	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
76	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
77	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
78	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
79	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
80	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
81	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
82	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
83	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
84	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
85	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
86	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
87	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
88	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
89	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
90	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
91	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
92	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
93	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
94	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
95	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
96	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
97	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
98	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
99	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）
100	漢字の読みかた（読みかたの読みかた）

### Ⅲ 調査問題の解説（出題の趣旨，解説，解答類型，学習指導に当たって等）

調査問題について，出題の趣旨，解説，解答類型，学習指導要領における領域・内容，学習指導に当たって等を記述しています。（設問によっては，記述のない項目もあります。）

調査問題を縮小して掲載しています。  
※著作権の都合により一部を省略しているものもあります。

#### 1. 出題の趣旨

調査問題ごとに，出題の意図，把握しようとする力，場面設定などについて記述しています。

#### 2. 解説 趣旨

設問ごとの出題の意図，把握しようとする力などを示しています。

##### ■学習指導要領における領域・内容

調査対象学年及び他の学年の児童への学習指導の改善・充実を図る際に参考となるよう，関係する学習指導要領における領域・内容を示しています。

##### ■評価の観点

設問に関する評価の観点を示しています。

##### 解答類型

設問における解答類型を示しています。詳しくは下欄を御参照ください。

国語AQ \*\*\*\*\*

#### 問題画像

#### 1. 出題の趣旨

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連  
〔第○学年及び第○学年〕 \*\*\*\*\*

#### 2. 解説

設問一  
趣旨

\*\*\*\*\*

■学習指導要領における領域・内容  
〔第○学年及び第○学年〕 \*\*\*\*\*

■評価の観点  
\*\*\*\*\*

#### 解答類型

問題番号	解 答 類 型	正答
1	*****	○
2	*****	
3	*****	
4	*****	
9	上記以外の解答	
0	無解答	

### 一人一人の児童の解答状況を把握するために

#### 解答類型

解答類型は，一人一人の児童の具体的な解答状況を把握することができるよう，設定する条件などに即して解答を分類，整理するためのものです。正答例，誤答例を示していますので，自校での採点を行う際や学習指導の改善・充実を図る際に御活用ください。

<正答>

「◎」…解答として求める条件を全て満たしている正答

「○」…設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答

<解答類型の番号>

解答類型 1～8（最大） 正答・予想される誤答（複数の解答類型が正答となる設問もある）

解答類型 9 「上記以外の解答」（解答類型 1～8 までは含まれない解答）

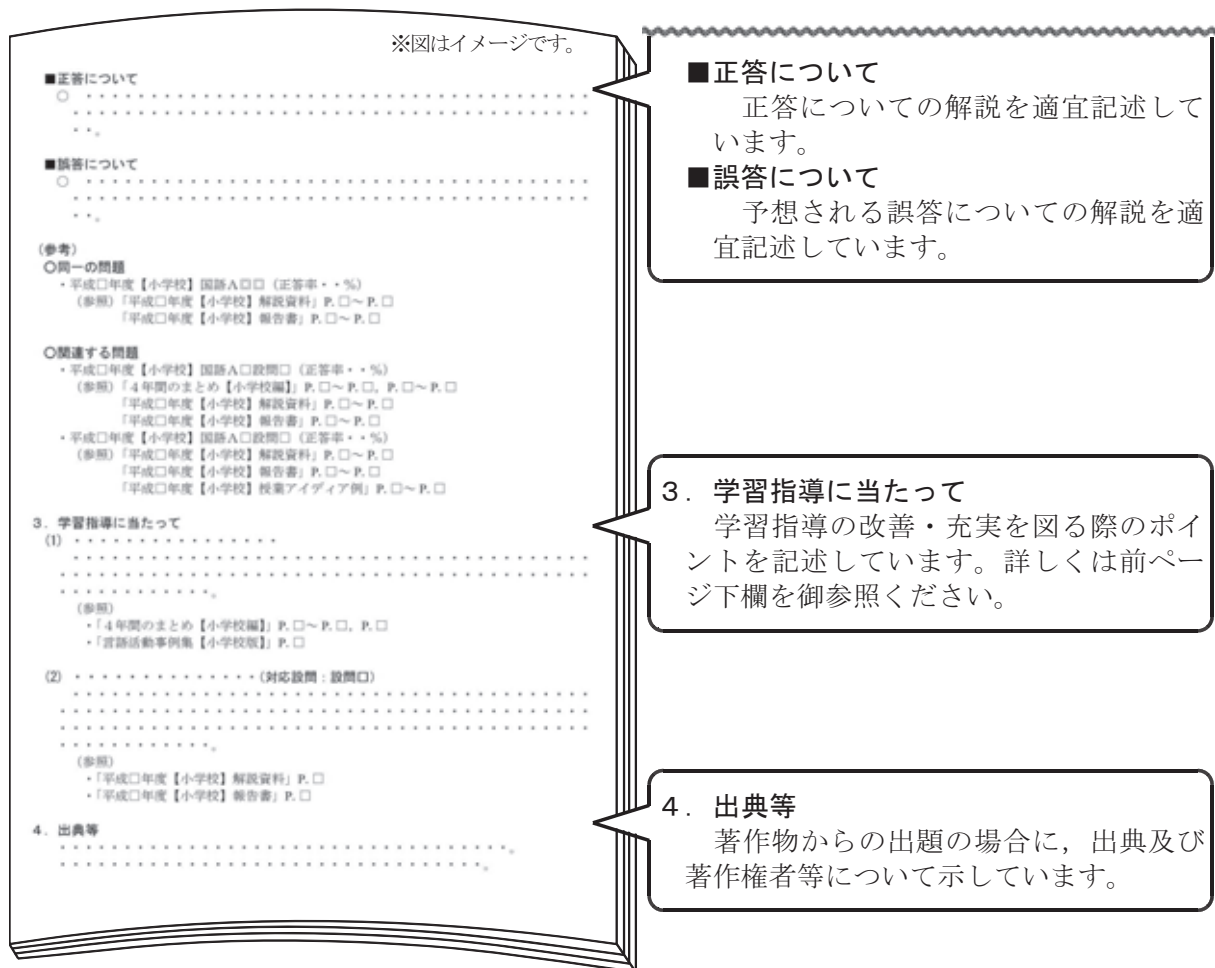
解答類型 0 「無解答」（解答の記入のないもの）

### 日々の学習指導に生かすために

#### 3. 学習指導に当たって

学習指導の改善・充実を図る際の参考にしてください。また，調査問題に関する領域・内容について，各学年での日々の学習指導に際しても御活用ください。

なお，関連する過去の調査の報告書や授業アイディア例など，これまで作成した資料の該当ページを記載していますので，これらの資料も併せて御活用ください。



#### Ⅳ 解答用紙（正答（例））

調査問題の解答用紙に正答（例）を記述したものを掲載しています。

自校での採点や学習指導の改善・充実に当たっては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等も併せて御参照ください。

#### Ⅴ 点字問題（抜粋）

本調査では、障害のある児童や日本語指導が必要な児童に対して、点字問題、拡大文字問題、総ルビ付き問題を用意しています。点字問題では、調査問題が一部異なるため、該当する問題及び解答類型の一部を掲載しています。

#### 巻末資料

本調査において参考となる過去の調査についての情報及び本資料の作成に当たっての参考文献を示しています。



## ◆ 特徴

「教科に関する調査」の各問題について、学習指導の改善・充実を図るための情報を盛り込んでいます。

「教科に関する調査」の各問題について、出題の趣旨、学習指導要領における領域・内容、解答類型、正答や予想される誤答の解説、学習指導の改善・充実を図る際のポイント等を記述しています。

全ての先生が、学習指導の改善・充実に活用できるものを目指して作成しています。

本調査は、第5学年までの内容を出題しています。対象学年である第6学年だけではなく、全学年を通じた学習指導の改善・充実を図るための参考となります。

各設問の「学習指導要領における領域・内容」には、該当する学年を示していますので、学校全体で組織的・継続的な取組を展開する際に、ぜひ御活用ください。

調査実施後、すぐに活用できるように作成しています。

調査結果が出る前の段階から、自校での採点を含め、日々の学習指導の改善・充実を図る際に役立てることができるように作成しています。

※調査結果を公表する際、調査結果から見られた課題の有無や誤答の分析、学習指導の改善・充実を図る際のポイントなどを示した「報告書」を作成します。

一人一人のつまづきが見えるように「解答類型」を設けています。

本調査では、一人一人の児童の具体的な解答状況を把握できるよう、設定する条件などに即して解答を分類、整理するためのものとして、「解答類型」を設けています。

正誤だけではなく、一人一人の誤答の状況（どこでつまづいているのか）に着目して、学習指導の改善・充実を図ることができます。

関連する過去の資料も活用できるように作成しています。

「学習指導に当たって」では、関連する過去の調査の報告書や授業アイデア例などの該当ページも記載しています。

学習指導の改善・充実を図る際は、これらの資料も併せて御活用いただくと効果的です。

※過去の報告書・授業アイデア例は、国立教育政策研究所のウェブサイトで見ることができます。（<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>）

※本資料では、以下の資料については略称を用いています。

資料	略称
「全国学力・学習状況調査の4年間の調査結果から今後の取組が期待される内容のまとめ～児童生徒への学習指導の改善・充実に向けて～【○学校編】」	「4年間のまとめ【○学校編】」
「平成○年度 全国学力・学習状況調査 解説資料 ○学校 ○○」	「平成○年度【○学校】解説資料」
「平成○年度 全国学力・学習状況調査【○学校】報告書」	「平成○年度【○学校】報告書」
「平成○年度 全国学力・学習状況調査【○学校】の結果を踏まえた授業アイデア例」 「平成23年度 全国学力・学習状況調査として実施予定であった調査問題を踏まえた授業アイデア例 ○学校 ○○」	「平成○年度【○学校】 授業アイデア例」
「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて【○学校版】」	「言語活動事例集【○学校版】」

## I 小学校国語科の調査問題作成に当たって

## I 小学校国語科の調査問題作成に当たって

### 1. 調査問題作成の基本理念

小学校国語科の調査問題は、「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について（報告）」（以下、報告書という。）（平成18年4月 全国的な学力調査の実施方法等に関する専門家検討会議）の問題作成の基本理念に基づいて作成する。

出題範囲・内容については、次の二つの枠組みとする。

主として「知識」に関する問題 （以下、「知識」の問題という。）	身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
主として「活用」に関する問題 （以下、「活用」の問題という。）	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容など

この二つの枠組みからも明らかなように、「実生活」に立脚する学力が含まれている。これは、学校で学習してきた知識・技能等が、児童生徒を取り巻く様々な生活場面において、活用できるようにすることが求められているからである。

児童生徒にとっての「実生活」は、各教科等の学習に加え、家庭生活や地域での生活を含めたものである。国語の側面から考えると、読書などに親しむ生活（読書生活）、音声や文字で表現する生活（表現生活）などの言語生活を視野に入れて問題を作成する。

なお、報告書では、調査問題自体が学校の教員や児童生徒に対して、土台となる基盤的な事項を具体的に示すとともに、教員の指導改善や児童生徒の学習改善・学習意欲の向上などに役立つことを求めていることにも配慮する。

### 2. 問題作成の枠組み

#### (1) 領域等と評価の観点

出題の範囲として、「知識」の問題並びに「活用」の問題のいずれも、小学校学習指導要領国語（平成20年告示）の目標及び内容に基づき、「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」、「C読むこと」の各領域及び〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕に示された指導事項をバランスよく出題する。

調査時期が第6学年の4月であるので、第5学年の終了段階において習得すべき指導内容が出題の範囲となる。

なお、各問題で問う能力に関わる児童の学習状況の評価の観点としては、「国語への関心・意欲・態度」、「話す・聞く能力」、「書く能力」、「読む能力」、「言語についての知識・理解・技能」の五つの観点に基づく。

#### (2) 「知識」の問題の枠組み

「知識」の問題は、第5学年の終了段階において習得すべき指導事項を焦点化して出題する。調査時間は20分である。

#### (3) 「活用」の問題の枠組み

「活用」の問題は、第5学年の終了段階において習得すべき指導事項を、小学校学習指導要領解説国語編第2章第1節に示す言語活動例などを遂行する中で活用できるかどうかをみる。そのため、「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」、「C読むこと」の各領域及び〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕に示された指導事項を複合させて出題する場合がある。調査時間は40分である。



#### (4) 問題形式

問題形式は、選択式、短答式、記述式の3種類とする。

記述式の問題では、知識・技能等を生かし、相手や目的、意図、場面や状況などに応じて言語を操作したり運用したりする能力をみる。「B書くこと」の問題に加え、「A話すこと・聞くこと」、「C読むこと」の問題においても記述式を採用する。

各領域における記述式の出題に関する基本的な考え方を下記に示す。

##### ■「A話すこと・聞くこと」における記述

「A話すこと・聞くこと」の指導においては、相手や目的、意図に応じ、事柄が明確に伝わるように話す順序や構成を工夫し、適切な言葉遣いで話す能力を高めるとともに、話の中心や話し手の意図を捉えながら聞き、質問をしたり、感想や意見を述べたりする能力などを高めることが求められる。

「A話すこと・聞くこと」の記述式の問題では、スピーチ原稿などのように話す事柄を分かりやすく整理したり、インタビュー記録などのように聞いた事柄やそれらに対する感想、意見などを区別したり、また話合いの中で自分の考えなどをまとめたりして書くような内容などを出題する。

##### ■「B書くこと」における記述

「B書くこと」の指導においては、相手や目的、意図に応じて、調べたことや考えたことなどについて全体の構成を整えたり、下書きをよりよく推敲したりして書く能力を高めることなどが求められる。その際、礼状や依頼状、意見文、紹介文、記録文、報告文などの様々な文章の種類や形態の特徴を踏まえた上で、書くことの一連のプロセスに即して書くことが重要である。

「B書くこと」の記述式の問題では、書くことの一連のプロセスの各段階で必要とされる能力を抽出し、様々な文章の種類や形態の特徴に応じて調べたことや考えたことなどを適切に書くような内容などを出題する。

##### ■「C読むこと」における記述

「C読むこと」の指導においては、目的に応じ、本や文章の内容を的確に押さえて要旨を捉えたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえて自分の考えを明確にしながら読んだりする能力を高めることが求められる。

「C読むこと」の記述式の問題では、目的に応じて本や文章を読み、その内容や構造などについて理解したことや、要旨や書き手の意図について解釈したことを書くような内容などを出題する。また、これまでの読書経験、体験などと関係付けながら、感想や評価などを書くような内容なども出題する。

なお、「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」、「C読むこと」のそれぞれの記述式の問題には、具体的な評価の観点を明確にする上で、必要に応じて解答の条件を付す。



## Ⅱ 調查問題一覽表

調査問題一覧表 【小学校国語】  
A 主として「知識」に関する問題

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			
				聞話	書	読	国語の伝統的な言葉に関する事項と	関心・語文・態度の	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語知識・理解・技術の	選択	短答	記述
1	一 (1)	漢字を読む (道路の標識を見る)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む				5・6 (1)ウ (ア)					○		○	
	一 (2)	漢字を読む (街灯がつく)					5・6 (1)ウ (ア)					○		○	
	一 (3)	漢字を読む (塾いよく走り出す)					5・6 (1)ウ (ア)					○		○	
	二 (1)	漢字を書く (料理をのせたさを運ぶ)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く				5・6 (1)ウ (ア)					○		○	
	二 (2)	漢字を書く (勝利を <u>い</u> わう)					5・6 (1)ウ (ア)					○		○	
	二 (3)	漢字を書く (かぜをよ <u>ぼ</u> うする)					5・6 (1)ウ (ア)					○		○	
2	一	故事成語の使い方として適切なものを選択する (五十歩百歩)	故事成語の意味と使い方を理解する				3・4 (1)ア (イ)					○	○		
	二	故事成語の使い方として適切なものを選択する (百聞は一見にしかず)					3・4 (1)ア (イ)					○	○		
3		情景描写を正しく理解し、適切なものを選択する	情景描写の効果を捉える			3・4 オ	5・6 (1)イ (ケ)			○		○	○		
4		新聞の投書を読み、表現の仕方として適切なものを選択する	新聞の投書を読み、表現の仕方を捉える			5・6 ウ					○		○		
5		物語の一部に入る適切な人物の名前を書く	物語の登場人物の相互関係を捉える			5・6 エ					○			○	
6	一	「～たり、…たり」という表現に直して書く	複数の事柄を並列の関係で書く		5・6 オ		5・6 (1)イ (キ)			○		○		○	
	二	文の意味のつながりを捉え、適切なものを選択する	仮定の表現として、適切なものを捉える		5・6 オ		5・6 (1)イ (キ)			○		○	○		
7		話合いの記録の仕方として適切なものを選択する	話合いの観点に基づいて情報を関係付ける	5・6 ア					○				○		
8		言葉の意味と使い方を捉え、適切なものを選択する (はかる)	国語辞典を使って、言葉の意味と使い方を理解する				3・4 (1)イ (カ)					○	○		
合計				1	3	2	12	0	1	3	2	12	7	8	0

調査問題一覧表 【小学校国語】  
B 主として「活用」に関する問題

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点					問題形式		
				聞話	書	読	国語の特質に関する事項	関心・語意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語・知識・理解・技能	選択	短答	記述
				くす ここ とと	く こ と	む こ と	伝 統 的 な 言 語 文 化 項	関 心 ・ 語 意 欲 ・ 態 度	話 す ・ 聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	知 言 語 ・ に 理 つ 解 ・ い 技 能	選 択 式	短 答 式	記 述 式
1	一	司会④の発言の内容をまとめて書く	目的に応じて、話合いの観点を整理する	5・6 オ					○					○	
	二	林さん⑤の質問の狙いとして適切なものを選択する	質問の意図を捉える	5・6 エ					○				○		
	三	大野さん②の発言に対し、手書きの立場から質問か意見を書く	立場を明確にして、質問や意見を述べる	5・6 エ	5・6 ウ			○	○	○					○
2	一	付箋の内容を関係付けて、原田さんの疑問を書く	付箋に書かれた内容を関係付けながら、最初にもった疑問を捉える			5・6 ウ					○			○	
	二	付箋の内容を関係付けて、野口さんのまとめを書く	分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書く		5・6 ウ	5・6 ウ		○		○	○				○
	三	疑問を解決するために、目次や索引の中から必要となるページの番号を書く	課題を解決するために、目次や索引を活用して、本を効果的に読む			5・6 イ					○			○	
3	一 (1)	【詩1】の表現の特徴として適切なものを選択する	二つの詩を比べて読み、表現の工夫を捉える			5・6 エ	5・6 (1)イ (カ)				○	○	○		
	一 (2)	【詩2】の表現の特徴として適切なものを選択する				5・6 エ	5・6 (1)イ (カ)				○	○	○		
	二	【詩2】に対する山田さんの解釈として適切なものを選択する	詩の解釈における着眼点の違いを捉える			3・4 オ					○		○		
	三	【詩1】と【詩2】を比べて読んで考えたことを書く	二つの詩を比べて読み、自分の考えを書く		5・6 ウ	5・6 エ		○		○	○				○
合計				3	3	7	2	3	3	3	7	2	4	3	3





### Ⅲ 調査問題の解説

(出題の趣旨，解説，解答類型，学習指導に当たって等)

#### A 主として「知識」に関する問題

## 国語 A 1 漢字を読んだり書いたりする

1

 次の一と二の問いに答えましょう。

一 (1)から(3)までの文の——部の漢字の読みを、ひらがなでいいねいに書きましょう。

(1) 道路の標識を見る。

(2) 街灯がつく。

(3) 勢いよく走り出す。

二 (1)から(3)までの文の——部のひらがなを、漢字でいいねいに書きましょう。

(1) 料理をのせたさらを選ぶ。

(2) 勝利をいわう。

(3) かぜをよほうする。

### 1. 出題の趣旨

学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり書いたりすることができるかどうかをみる。

漢字を正しく読み、正しく書く力は、理解したり表現したりするために必要な知識や技能であり、漢字を含む語彙の拡充を図るためにも重要である。また、国語科の学習のみならず、各教科等の学習の基礎となる力であり、日常生活に欠かせない知識や技能である。

本問では、既習の漢字の定着状況を把握するために、第3学年(「皿」、「予」)、第4学年(「標」、「街」、「灯」、「祝」)、第5学年(「識」、「勢」、「防」)の配当漢字を取り上げた。ここでは、文の意味を理解した上で、漢字を正しく読んだり書いたりすることが求められる。

なお、設問一(3)と設問二(3)は、過去の調査と同一の問題である。〔参照：(参考)〕

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(1) ウ 文字に関する事項

(ア) 第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。

#### ■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

## 2. 解説

### 解答類型

問題番号		解 答 類 型			正 答
1	一 (1)	1	「ひょうしき」と解答しているもの		◎
		2	「ひょう」と解答しているが、「しき」と解答していないもの		
		3	「ひょう」と解答していないが、「しき」と解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	一 (2)	1	「がいとう」と解答しているもの		◎
		2	「がい」と解答しているが、「とう」と解答していないもの		
		3	「がい」と解答していないが、「とう」と解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	一 (3)	1	「いきお (い)」と解答しているもの		◎
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	二 (1)	1	「皿」と解答しているもの		◎
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	二 (2)	1	「祝 (う)」と解答しているもの		◎
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	二 (3)	1	「予防」と解答しているもの		◎
		2	「予」と解答しているが、「防」と解答していないもの		
		3	「予」と解答していないが、「防」と解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		

(参考)

○同一の問題

設問一(3) 「いきお(い)」

- ・平成20年度【小学校】国語A<sup>1</sup>設問一(3) (正答率76.4%)  
(参照)「平成20年度【小学校】解説資料」P. 14～P. 15  
「平成20年度【小学校】報告書」P. 143～P. 145

設問二(3) 「予防」

- ・平成20年度【小学校】国語A<sup>1</sup>設問二(2) (正答率63.2%)  
(参照)「平成20年度【小学校】解説資料」P. 14～P. 15  
「平成20年度【小学校】報告書」P. 143～P. 145

3. 学習指導に当たって

○ 当該学年までに配当されている漢字を習得する

学年別漢字配当表に示されている漢字を、正確に習得することが重要である。そのためには、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うことができるように、計画的に指導することが大切である。

具体的には、新出漢字をノートに繰り返し書いたり、既習の漢字を意図的に復習したりすることができるように指導することが考えられる。また、手紙や日記などの文章を書く際には、漢字のもつ意味を考えながら正しく使ったり、同音異義や同訓異義の漢字を区別して使ったりすることができるように指導することも考えられる。

## 国語 A 2 故事成語の意味と使い方を理解する

2

次の一と二の故事成語の使い方として最もふさわしいものを、1から3までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

一 「五十歩百歩」

- 1 姉と私は、残りのケーキをどちらが食べるのかでもめていた。すると、母が私たちを注意して、もめごとに関係のない弟に食べさせた。弟にとっては、五十歩百歩だ。
- 2 私たちの学級では、学年で行われる学級対抗ドッジボール大会での優勝をめざして、ほかの学級よりもずっと前から練習を始めた。だから、優勝できたのは、五十歩百歩だ。
- 3 山口さんと川島さんが、学校で出された宿題を五回忘れたのか、六回忘れたのかで言い争っていた。このようなことで言い争う二人は、五十歩百歩だ。

二 「百聞は一見にしかず」

- 1 友達の野村さんは、先生の説明のはじめの部分の聞くと、結論まで見通すことができるという。百聞は一見にしかずということができるんだ。
- 2 私は、夕日が美しいことで有名な海岸を訪れ、その美しさを自分の目で見て実感することができた。まさに百聞は一見にしかずだ。
- 3 私は、人からいろいろと細かく注意されることがいやだ。しかし、友達に百聞は一見にしかずだと助言されたので、そのことをよく考えてみようと思う。

### 1. 出題の趣旨

故事成語の意味と使い方を理解することができるかどうかをみる。

故事成語は、中国の故事に由来する熟語である。言語生活を豊かにするために、故事成語をはじめ、ことわざや慣用句などの意味を正確に理解し、日常生活で適切に用いることは重要である。

本問では、日常生活でよく使用される二つの故事成語を取り上げた。それぞれの故事成語の意味を正確に理解し、その使い方を捉えることが求められる。

なお、故事成語の意味と使い方について理解することを取り上げたのは今回が初めてである。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第3学年及び第4学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(1) ア 伝統的な言語文化に関する事項

(イ) 長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。

#### ■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

## 2. 解説

### 解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
②	一	1	1 と解答しているもの	
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	◎
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	
	二	1	1 と解答しているもの	
		2	2 と解答しているもの	◎
		3	3 と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

#### ■正答について

- 「五十歩百歩」とは、「多少の違いはあるようでも、似たり寄ったりでそれほど大差がないこと」という意味であるため、選択肢 **3** が正答である。
- 「百聞は一見にしかず」とは、「人から何度も話を聞くより、一度でも実際に自分で見る方がよく分かること」という意味であるため、選択肢 **2** が正答である。

#### ■誤答について

- 正答以外の選択肢が誤答となる理由は次のとおりである。
  - ・ 一 選択肢 **1** 「漁夫の利」という故事成語にあたるので誤答である。
  - 選択肢 **2** 「先んずれば人を制す」という故事成語にあたるので誤答である。
  - ・ 二 選択肢 **1** 「一を聞いて十を知る」という故事成語にあたるので誤答である。
  - 選択肢 **3** 「良薬は口に苦し」という故事成語にあたるので誤答である。

## 3. 学習指導に当たって

### (1) 故事成語の意味や使い方を正確に理解する

先人の知恵や教訓，機知に触れながら，故事成語の意味や使い方を正確に理解することが重要である。そのためには，故事成語に興味や関心をもつことができるように指導することが大切である。

例えば，複数の故事成語とそれらの成り立ちを先に教え，その中から児童は興味や関心に応じて調べることができるように指導することが考えられる。その際，動物が出てくるもの，数字を用いたものなどと，題材ごとに分類して示すことなどによって，児童が興味や関心をもつことができるように工夫することが大切である。

### (2) 故事成語を自分の表現に活用する

故事成語を自分の表現に活用することが重要である。そのためには，取り上げた故事成語をどのように使うことが適切かについて吟味することができるように指導することが大切である。

具体的には，自分の興味や関心に応じた故事成語を取り上げて，物語を作ったり，四コマ漫画を描いたりするような場面を設けるとともに，その使い方の適否について交流することが効果的である。



国語 A 3 物語を創作する

**3**

次は、南田さんが想像したことをもとにして書いている【物語の一部】です。南田さんは、橋本さんから助言をもらっています。あとの【二人の会話の様子】の□の中に入る内容として最もふさわしいものを、1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

**【物語の一部】**

良太は、小学三年生の男の子。春休みに、大きな町から引っ越してきました。四月、引っ越した先の学校に通い始めましたが、はずかしがり屋の良太は同じ学級の人に声をかけることができませんでした。

おだやかな風がふく、ある日のことです。学校から家に帰った良太は、近くの公園に出かけました。その公園は、学級みんながよく遊んでいる場所です。学級のだれかと会って話をしたくて、そこでじっと待つことにしました。しかし、公園にはだれも来ません。

良太は、さびしい気持ちでいっぱいになりました。

「こんなところなんてさらいだ。友達なんていないや。」

と、小さな声でつぶやきました。

（物語が続く）

**【二人の会話の様子】**

南田　――部では、良太の気持ちを「さびしい」と表現したけど、「さびしい」という言葉を使わずに、うまく表現できないかな。

橋本　それならば、その気持ちを□で表したらどうだろう。

南田　それはいいね。（しばらく考える。）

では、「いつの間にか灰色の雲が広がり、公園はだんだんと暗くなってきました。」としたらどうかな。

橋本　そうだね。そのように書きかえると、「さびしい」という言葉を使わなくても、読み手に良太の気持ちや様子を想像させることができると思うよ。

（会話が続く）

1　良太の顔の表情

2　良太の心の中の声

3　良太の周りの風景

4　良太の行動

1. 出題の趣旨

情景描写の効果を捉えることができるかどうかをみる。

物語を創作することは、表現力を高めたり、創造的に思考することの楽しさを実感させたりする上で重要である。

本問では、登場人物の心情を情景描写によって表現する場面を設定した。ここでは、主人公の心情を直接的に表現するのではなく、情景描写によって表現する方法に書き換えることで、表現の効果が高まることに気付くことが求められる。

なお、学習指導要領改訂に伴い、「身近なこと、想像したことなどを基に、詩をつくったり、物語を書いたりする」という言語活動例が新たに例示された。

■学習指導要領における領域・内容

〔第3学年及び第4学年〕　B　書くこと

オ　文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること。

〔第5学年及び第6学年〕　伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(1)　イ　言葉の特徴やきまりに関する事項

(ケ)　比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第3学年及び第4学年〕　B　書くこと

ア　身近なこと、想像したことなどを基に、詩をつくったり、物語を書いたりすること。

## ■評価の観点

書く能力

言語についての知識・理解・技能

## 2. 解説

### 解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
③		1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

### ■正答について

- 【二人の会話の様子】において、南田さんは「さびしい」という気持ちを「灰色の雲」が広がって、「だんだんと暗くなって」いく公園の様子によって表現しようとしていることを捉える必要がある。

### ■誤答について

- 選択肢 1, 2, 4 は、「いつの間にか灰色の雲が広がり、公園はだんだんと暗くなりました。」という表現の説明としてあてはまらないので誤答である。

(参考)

### ○関連する問題

- ・平成24年度【小学校】国語A⑥（正答率72.1%）

（参照）「平成24年度【小学校】解説資料」P. 26～P. 27

「平成24年度【小学校】報告書」P. 134～P. 135

### 3. 学習指導に当たって

#### (1) 物語を読み、表現方法の特徴とその効果について捉える

物語の表現方法の特徴とその効果について捉えることは、物語を創作する上で重要である。読むことの指導との関連を図りながら、登場人物がそれぞれの役割をもっていること、フィクション（虚構）の世界が物語られていることなどの物語の基本的な特徴を理解することができるように指導することが重要である。

物語の表現方法として、具体的には、登場人物の心情などについて、直接的に描写されているものだけでなく、登場人物の相互関係に基づいた行動や会話、情景などを通して暗示的に表現されているものもあることを捉えることができるように指導することが考えられる。

#### (2) 構成や表現の効果を明確にして物語を創作する

物語を創作するときは、構成や表現の効果などについて工夫しながら文章を書くことが重要である。その際、読み手の立場から客観的に確かめるように指導することが考えられる。

例えば、登場人物の設定、物語全体の構成（「状況設定—発端—事件展開—山場—結末」など）の効果、一人称や三人称などの語り手の視点などといった基本的な物語の特徴について指導することが考えられる。また、創作した物語の構成や表現の効果などについて、相互評価を行う場面を設けることも効果的である。

（参照）

・「言語活動事例集【小学校版】」P. 39～P. 40

**4**

新聞には、読者からの投書（自分の意見や希望などを書いて送ること。また、その文章。）がのせられているものがあります。次の【投書】の書き手は、自分の意見や希望などをどのように書いていますか。その説明として最もふさわしいものを、1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

**命の大切さは同じ**

小学生 西田夏子  
(〇〇市 12才)

先日、近くの公園へ遊びに行ったとき、ねこの鳴き声が聞こえてきました。鳴き声のする方へ近づくと、小さな箱があり、その中にねこがいました。そのねこは、ふるえていました。それを見て、わたしはかわいそうにたまらなくなりました。

ねこは、すてられたのでしょうか。もしすてられたのであれば、飼主の人は、どうしてすてたのでしょうか。ねこは小さな生き物ですが、命の大切さはわたしたち人間と同じだと思います。

これは、ねこに限ったことではありません。動物を飼う人には、その動物の命の大切さをきちんと理解して飼ってほしいと思います。

**1** 複数の情報を比べ、内容のちがいに注目して書いている。

**2** 昔から伝わることわざや、言い伝えを引用して書いている。

**3** 自分の考えに反対する具体的な意見を取り上げて書いている。

**4** 自分が実際に体験したことをもとにして書いている。

## 1. 出題の趣旨

新聞の投書を読み、表現の仕方を捉えることができるかどうかをみる。

新聞の投書は、ある出来事やテーマ、身近な問題などについて考えたり感じたりしたことを書いた文章である。投書を読むときは、書き手の意見や主張の内容を押さえるだけでなく、考えの書き方や資料の使い方など、書き手の工夫を捉えながら読むことが重要である。

本問では、書き手の立場に立って投書を読む場面を取り上げた。読み手に対して自分の意図を伝えるために、どのような工夫をしているかを捉えることが求められる。

なお、これまで、メディアとして新聞や雑誌の記事、広告などを取り上げてきたが、新聞の投書を取り上げたのは今回が初めてである。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。

### ■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

イ 自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること。

### ■評価の観点

読む能力

## 2. 解説

### 解答類型

問題番号	解 答 類 型	正 答
4	1 1 と解答しているもの	
	2 2 と解答しているもの	
	3 3 と解答しているもの	
	4 4 と解答しているもの	◎
	9 上記以外の解答	
	0 無解答	

#### ■正答について

- 投書の書き手は、読み手に対して「命の大切さは同じ」という意見を伝えるために、実際に捨てられた猫を目にした体験を挙げて書いている。このように投書の書き手が意見を効果的に伝えるための工夫をしていることを的確に捉える必要がある。

#### ■誤答について

- 選択肢 1, 2, 3 は、書き手の【投書】の書き方の説明としてあてはまらないので誤答である。

## 3. 学習指導に当たって

### (1) 投書における表現の工夫を捉える

投書の表現には、書き手が自分の主張を効果的に伝えるために、次のような表現の工夫をしているものがある。

- ・書き出し（相手に問いかける、ある人の意見に応じて賛否を示す など）
- ・文末表現（断定、説得、共感、希望、願望 など）
- ・内容構成（体験に基づく意見、事実と感想や意見との区別、ことわざや言い伝えの引用、意図的な反論の提示 など）

このような投書の表現の工夫を捉えることができるように指導することが重要である。具体的には、複数の投書を比べて読むことで、様々な表現の工夫を捉えることができるように指導することが効果的である。

### (2) 投書を読んで自分の考えをもつ

投書には、書き手が広く一般に、あるいは限定した対象に対して伝えたいことが書かれたものや、掲載された投書に対して、賛成や反対の立場から意見を述べたものなどがある。投書を読むときには、書き手の主張を十分に捉えた上で自分の考えをもつことが重要である。そのためには、書き手のものの見方や考え方について賛成したり反対したりしながら読むとともに、それらの理由や根拠を明確にすることができるよう指導することが大切である。

例えば、投書の中から具体的な文言を取り上げ、自分が賛成したり反対したりする理由や根拠について、少人数のグループや学級全体で交流することが考えられる。また、一定の字数制限を与えた上で、実際に投書を書く学習を行うことも考えられる。

国語 A 5 物語の登場人物の相互関係を捉える

**5**

次は、「かくれんぼう」という題名の物語の一部です。  
 の中には、「よし子」「ジョール」「オデット」という人物の名前が入ります。それぞれに  
 当てはまる名前を書きましょう。ただし、同じ名前は一回しか入りません。

■物語のこれまでのあらすじ

登場人物は、よし子、フランス人のジョールとその妹のオデットです。三人は、  
 かくれんぼうをして遊んでいます。おにのジョールは、よし子とオデットを同時に  
 見つけました。そこで、二人はジョールにどちらを先に見つけたのかたずねています。

(志賀直哉「かくれんぼう」による)

(志賀直哉「かくれんぼう」による)

※1 「まゆ根を寄せ」「いやなことに対して顔をしかめること」  
 ※2 「後ろ手」……手を背中に隠すこと。  
 ※3 「不興」……おもしろくない様子。

1. 出題の趣旨

物語の登場人物の相互関係を捉えることができるかどうかをみる。

本問は、「4年間のまとめ【小学校編】」において、「物語に登場する人物についての描写や心情、人物相互の関係を捉えること」に課題があると指摘していることを踏まえて出題した。

物語を読む際、登場人物の相互関係から人物像やその役割を押さえたり、行動や会話、情景などの描写から心情を捉えたりすることが重要である。

本問では、志賀直哉が書いた「かくれんぼう」の一部を読み、三人の登場人物の関係を捉える場面を設定した。ここでは、会話描写に注目し、前後の文脈から登場人物の相互関係を判断して読むことが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。

■評価の観点

読む能力



## 2. 解説

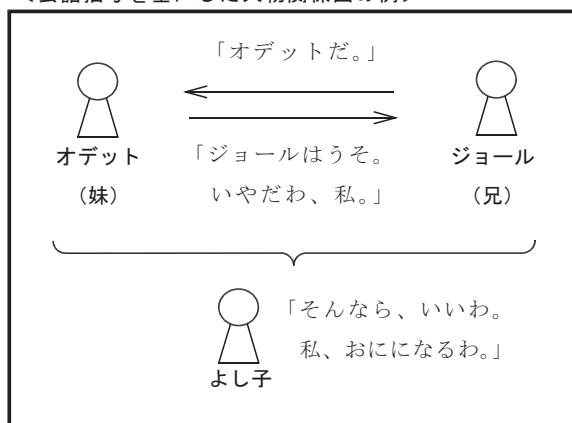
### 解答類型

問題番号	解答類型	正答
5	ア	1
	イ	2
		3
	ウ	4
		5
		6
		7
		9
		0

#### ■正答について

- 物語の一部における登場人物の相互関係としては、「オデット」が「おに」になることを拒んでおり、その様子を見て「よし子」は、自らが「おに」になることを申し入れている。兄の「ジョール」は、「おに」になることを免れた妹をとがめている。このような登場人物の相互関係を的確に捉えた上で、アに「オデット」、イに「よし子」、ウに「ジョール」と書く必要がある。

#### <会話描写を基にした人物関係図の例>



#### ■誤答について

- アに「オデット」、イに「よし子」、ウに「ジョール」と書いていないものや、人物の名前を正しく書いていないものは誤答とする。

#### (参考)

#### ○関連する問題

- ・平成22年度【小学校】国語A[3] (正答率65.3%)

(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P. 8～P. 9, P. 74～P. 75, P. 104

「平成22年度【小学校】解説資料」P. 16～P. 17

「平成22年度【小学校】報告書」P. 102～P. 104

「平成22年度【小学校】授業アイディア例」P. 1

### 3. 学習指導に当たって

#### ○ 登場人物の相互関係を捉える

物語などを読むときの中心となる登場人物について、その相互関係を捉え、それらに基づいて心情や場面の描写を捉えることが重要である。そのためには、まず、一人一人の登場人物の行動や性格に基づき、場面の展開に即して変化する気持ちを中心に捉えることができるように指導することが大切である。さらに、登場人物の相互関係から人物像やその役割を捉え、内面にある深い心情も合わせて捉えることにつないでいくことが重要である。物語全体を通して捉えた登場人物の相互関係については、図などに表す指導が考えられる。

### 4. 出典等

- ・監修者 樺島忠夫／宮地裕／渡辺実 著者 志賀直哉ほか『【光村ライブラリー第十四巻】木龍うるしほか』（2002年3月 光村図書出版株式会社）による。

国語 A 6 適切な表現にして書く

**6**

黒木さんは、次の「きのうの出来事」についての文章を書いたあと、読み返して、適切な表現にしようとしています。あとの一と二の問いに答えましょう。

**【きのうの出来事】**

わたしは、きのうの夜、母に注意されたのに、おそくまでテレビを見たり、音楽を聞きました。そのため、夜にねむれなくなっていました。このようなことになったのは、母の注意に耳をかたむけていたらよかったと反省しました。

一 ア 部は、「～たり」が一回しか使われていないので、適切な表現ではありません。「～たり」は、複数の内容を並べるときに使う言葉です。ア 部を「～たり、～たり」という表現を使って書き直しましょう。

(解答には、「～」と「…」の記号は必要ありません。)

二 イ 部は、そのあとに続く「母の注意に耳をかたむけていたらよかったと反省しました。」という内容に対して、適切な表現ではありません。イ 部を書き直すときに使うことができる言葉を、1から5までの中から三つ選んで、その番号を書きましょう。

(解答の順序は、問いません。)

1 なるならば

2 なるし

3 なるのに

4 なるのだったら

5 なるのであれば

1. 出題の趣旨

文や文章の構成を理解し、適切な表現にして書くことができるかどうかをみる。

本問は、「4年間のまとめ【小学校編】」において、「複数の内容を含む文を分析的・統合的に理解すること」に課題があると指摘していることや、平成25年度国語A 3 設問二において、「複数の内容を含む文について、主語と述語との関係や接続語の役割を押さえながら文を分析的に捉えること」に課題があると指摘していることなどを踏まえて出題した。

伝えたい内容を相手に的確に伝えるためには、文や文章の構成を整え、適切に表現することが重要である。

本問では、自分で書いた文章を推敲し、よりよい文章に書き直していく場面を設定した。設問一では、複数の事柄を並列の関係で書く場面を設定した。ここでは、「～たり、…たり」という並列の関係を理解し、それを的確に用いることが求められる。設問二では、仮定の表現として適切なものを捉える場面を設定した。ここでは、文脈を押さえた上で、文の中での照応関係から適切な表現を捉えることが求められる。

## 2. 解説

### 設問一

#### 趣旨

複数の事柄を並列の関係で書くことができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

オ 表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。

〔第5学年及び第6学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項

(き) 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること。

#### ■評価の観点

書く能力

言語についての知識・理解・技能

#### 解答類型

問題番号		解 答 類 型		正 答
6	ー	1	「テレビを見たり、音楽を聞いたりしました。」などと解答しているもの	◎
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

#### ■正答について

- 【きのうの出来事】の一文目では、「テレビを見た」とことと「音楽を聞いた」とことの二つの事柄が並列で書かれている。このことを捉えた上で、設問の中に示されている「～たり、…たり」という表現を使って書き直す必要がある。

#### ■誤答について

- 複数の事柄を並列で書くときに用いる、「～たり、…たり」という表現に書き直すことができていないものは誤答とする。

## 設問二

### 趣旨

仮定の表現として、適切なものを捉えることができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

オ 表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。

〔第5学年及び第6学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項

(キ) 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること。

### ■評価の観点

書く能力

言語についての知識・理解・技能

### 解答類型

問題番号	解 答 類 型	正答
[6] 二	1 1・4・5と解答しているもの（順不同）	◎
	2 1・4と解答しているが、5と解答していないもの	
	3 1・5と解答しているが、4と解答していないもの	
	4 4・5と解答しているが、1と解答していないもの	
	5 1と解答しているが、4・5と解答していないもの	
	6 4と解答しているが、1・5と解答していないもの	
	7 5と解答しているが、1・4と解答していないもの	
	9 上記以外の解答	
	0 無解答	

### ■正答について

- 【きのうの出来事】の三文目では、「夜にねむれなくなって」しまったことに対して、「母の注意」に耳を傾けなかったことへの反省が書かれている。このような文脈を踏まえた上で、仮定を表す場合に使うことのできる、選択肢1「なるならば」、選択肢4「なるのだったら」、選択肢5「なるのであれば」の三つを選択しているものを正答とする。

### ■誤答について

- 正答以外の選択肢が誤答となる理由は次のとおりである。
- ・ 選択肢2は、並列の接続助詞である「し」を用いたものなので誤答である。
  - ・ 選択肢3は、逆接の接続助詞である「のに」を用いたものなので誤答である。

(参考)

○関連する問題

- ・平成20年度【小学校】国語A<sup>3</sup> (34.0%)  
(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P. 12～P. 13, P. 88～P. 89  
「平成20年度【小学校】解説資料」P. 18～P. 19  
「平成20年度【小学校】報告書」P. 148～P. 149
- ・平成21年度【小学校】国語A<sup>8</sup> (15.0%)  
(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P. 12～P. 13, P. 90～P. 91, P. 110  
「平成21年度【小学校】解説資料」P. 28～P. 29  
「平成21年度【小学校】報告書」P. 187～P. 189  
「平成21年度【小学校】授業アイデア例」P. 1
- ・平成22年度【小学校】国語A<sup>4</sup> (60.6%)  
(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P. 12～P. 13, P. 92～P. 93, P. 111  
「平成22年度【小学校】解説資料」P. 18～P. 19  
「平成22年度【小学校】報告書」P. 105～P. 107  
「平成22年度【小学校】授業アイデア例」P. 2
- ・平成23年度【小学校】国語A<sup>5</sup>  
(参照)「平成23年度【小学校】解説資料」P. 20～P. 21
- ・平成24年度【小学校】国語A<sup>7</sup> (43.7%)  
(参照)「平成24年度【小学校】解説資料」P. 28～P. 31  
「平成24年度【小学校】報告書」P. 136～P. 138  
「平成24年度【小学校】授業アイデア例」P. 2
- ・平成25年度【小学校】国語A<sup>3</sup>設問二(1) (23.6%)  
(参照)「平成25年度【小学校】解説資料」P. 22～P. 24  
「平成25年度【小学校】報告書」P. 32～P. 35  
「平成25年度【小学校】授業アイデア例」P. 7～P. 8

3. 学習指導に当たって

○ 文や文章を論理的に整えて書く

文や文章の構成を整えて書くためには、語句と語句との係り方や照応の仕方に気付き、文と文とのつながりの明確さを意識することが重要である。そのためには、語句の意味を正しく捉えることや、指示語や接続語の役割について理解することができるよう指導することが大切である。

具体的には、本問と関連付けた場合、次のような表現について指導することが考えられる。

- ・並列の表現→「と」、「や」、「～たり、…たり」、「また」 など
- ・仮定の表現→「ば」、「なら」、「たら」、「もし」、「仮に」 など

また、児童自身が間違いなどを正したり、よりよい表現に書き直したりする推敲についても十分な指導を行う必要がある。その際、下書きと推敲後の文章を比べるなどの工夫をすることによって、筋道の整った文章になったことを実感できるように指導することが考えられる。



## 国語A 7 情報を関係付ける

**7**

岩村さんの学級では、みんなが参加でき、多くの人とふれ合えるように、「みんなで遊ぶ日の遊びを見直そう」という案が出されました。それを議題として話し合いをしています。次は、話し合いの内容を黒板にまとめた【記録の一部】です。まとめ方の説明として最もふさわしいものを、1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

**【記録の一部】**

〈議題〉 みんなで遊ぶ日の遊びを見直そう	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">苦手な人があまりいない</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すごろく</li> <li>・おはじき</li> <li>・あやとり</li> <li>・竹馬</li> </ul> </div> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おにごっこ</li> <li>・かくれんぼ</li> <li>・長なわとび</li> <li>・ドッジボール</li> </ul> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">苦手な人がいる</div>	<div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; padding: 5px;">多くの人とふれ合える</div>

1 出された「遊び」を、場所やルールごとにそれぞれ整理している。

2 提案の理由に合わせた複数の観点を決め、それらに合わせて「遊び」を分類している。

3 出された「遊び」を、みんなが参加できると考えられる順番に上から並べている。

4 「一つの「遊び」を取り上げ、そこからほかの「遊び」を連想して広げている。

### 1. 出題の趣旨

話し合いの観点に基づいて情報を関係付けることができるかどうかをみる。

各教科等の学習や日常生活においては、様々な目的や意図に応じた話し合いの場面がある。その際、国語科の学習において習得した話し合いの能力を活用していくことが重要である。中でも、話し合いの観点を明確にし、互いの考えを関係付けながら話し合いを円滑に進めていくことは大切である。

本問では、議題について話し合いを行い、その内容を黒板にまとめる場面を設定した。ここでは、記録者が話し合いの観点に基づいて出された意見を分類していることを的確に捉えることが求められる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと

ア 考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関係付けること。

#### ■評価の観点

話す・聞く能力

## 2. 解説

### 解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
7	1	1 と解答しているもの		◎
	2	2 と解答しているもの		
	3	3 と解答しているもの		
	4	4 と解答しているもの		
	9	上記以外の解答		
	0	無解答		

#### ■正答について

- 「みんなが参加でき、多くの人とふれ合えるように」という提案の理由に合うように、「多くの人とふれ合えるか、ふれ合えないか」、「苦手な人がいるか、あまりいないか」という観点に基づいて、出された「遊び」の案を分類しながら記録していることを捉える必要がある。

#### ■誤答について

- 選択肢 1, 3, 4 は、【記録の一部】におけるまとめ方の説明としてあてはまらないので誤答である。

## 3. 学習指導に当たって

### ○ 観点に基づき、情報を関係付ける

話し合いを行う際、目的や提案の理由を明確にした上で複数の観点を設定し、それに基づいて意見を整理していくことが重要である。そのためには、出された意見と観点とを関係付けて、図に分類したり、表にまとめたりすることができるよう指導することが大切である。

このような指導は、国語科の学習のみならず、各教科等の学習や日常生活においても重要であり、話し合いの内容をメモやノートに整理して書く習慣を付けることも大切である。

(参照)

- ・「言語活動事例集【小学校版】」P.213～P.214
- ・「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」P.35

国語 A 8 国語辞典を使って調べる

**8**

次の【文章の一部】の——部の言葉の意味を、国語辞典を使って調べます。——部の「はかる」の意味は、あとの【国語辞典の一部】の1から4までの中のどれに当たりますか。一つ選んで、その番号を書きましょう。

**【文章の一部】**

小学生の運動習慣の調査によると、体育の授業以外では、運動をほとんどしない小学生が多いことが分かった。このことから、小学生が運動をする機会の増加を**はかる**必要があると考える。

～（内容が続く）～

**【国語辞典の一部】**

**は**

1 はかる【計る】（動）時間・温度などを調べる。例 タイムを計る。

2 はかる【測る】（動）長さ・高さ・広さなどを測定する。例 身長を測る。

3 はかる【量る】（動）重さ・分量などを調べる。例 体重を量る。

4 はかる【図る】（動）いろいろと調べて計画する。例 解決を図る。

は

1. 出題の趣旨

国語辞典を使って、言葉の意味と使い方を理解することができるかどうかをみる。

語彙を拡充するために、語句の量を増やし、使い方の範囲を広げるとともに、それぞれの語句がどのような性質をもち類別されるのかを理解することが重要である。

本問では、【文章の一部】の文脈を押さえた上で、【国語辞典の一部】の中から、「はかる」の意味を的確に捉えることが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第3学年及び第4学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項

(カ) 表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる方法を理解し、調べる習慣を付けること。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

## 2. 解説

### 解答類型

問題番号	解 答 類 型			正 答
8	1	1 と解答しているもの		
	2	2 と解答しているもの		
	3	3 と解答しているもの		
	4	4 と解答しているもの		◎
	9	上記以外の解答		
	0	無解答		

#### ■正答について

- 【文章の一部】の二文目では、「はかる」という言葉が「小学生が運動をする機会の増加」を「いろいろと考えて計画する」という意味で使われていることを捉える必要がある。

#### ■誤答について

- 選択肢 1, 2, 3 は, 【文章の一部】での「はかる」の意味の説明としてあてはまらないので誤答である。

#### (参考)

##### ○関連する問題

- ・平成20年度【小学校】国語A **4** (53.4%)  
(参照)「平成20年度【小学校】解説資料」P. 20～P. 21  
「平成20年度【小学校】報告書」P. 150～P. 151
- ・平成22年度【小学校】国語A **7** (81.5%)  
(参照)「平成22年度【小学校】解説資料」P. 24～P. 25  
「平成22年度【小学校】報告書」P. 113～P. 115
- ・平成23年度【小学校】国語A **8**  
(参照)「平成23年度【小学校】解説資料」P. 28～P. 29

## 3. 学習指導に当たって

### (1) 国語辞典を使って調べる習慣を付ける

国語辞典には、言葉の意味や使い方、漢字での書き表し方などが書かれている。必要に応じて国語辞典を利用することを習慣付けるように指導することが重要である。

具体的には、国語科の学習のみならず、各教科等の学習や日常生活の中でも、積極的に国語辞典を利用するように働きかける指導を行うことが考えられる。また、調べたいときにいつでも使えるように、国語辞典を手元に置くような言語環境をつくることも大切である。

### (2) 同音異義や同訓異義の言葉を知り、使い分ける

同音や同訓の漢字を知識として多く獲得し、文脈に合わせて適切に漢字を使うことができるようにすることが重要である。そのためには、同音異義や同訓異義の漢字を意図的に取り上げ、それぞれの意味の違いや使い方を理解することができるよう指導することが大切である。

具体的には、同音異義や同訓異義の漢字を使って複数の短い文を書くなどの学習を積み重ねるように指導することが考えられる。その際、国語辞典だけでなく、漢字辞典も使って、漢字そのものの意味や成り立ちについて着目するように指導することが効果的である。

### Ⅲ 調査問題の解説

(出題の趣旨，解説，解答類型，学習指導に当たって等)

#### B 主として「活用」に関する問題

国語B 1 立場や意図をはっきりさせながら討論する〈卒業文集〉

**1** 第一小学校の六年生の学級では、「卒業文集はパソコンを使ってつくるか、手書きにするか」という議題で、それぞれの立場に分かれて討論会を行っています。次は、そのときの「討論会の様子」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【討論会の様子】…①・②・③・④・⑤の発言の内容は、あとの問いと関係があります。

司会 これから討論会を始めます。今回の議題は、「卒業文集はパソコンを使ってつくるか、手書きにするか」ということです。ではまず、パソコンを使う立場からの主張をお願いします。

丸山 はい。ぼくは、パソコンを使う方がよいと思います。手書きは、文字を書いたり消したりするのがめんどくさいからです。パソコンであれば、何度でも簡単に書き直すことができますので、作業に取り組みやすいと思います。

大野 私もパソコンを使う方がよいと思います。記念に残る卒業文集なので、読みやすくつくるべきだと考えます。手書きだった去年の卒業文集には読みにくいところがありました。パソコンであれば、文字が上手にうまく関係なく、文字の影や大きさがそろっているので、読みやすくなります。

次に、手書きの立場からの主張をお願いします。

平川 はい。ぼくは、手書きの方がよいと思います。六年生のときの手書きの文字をそのまま残した方が、記念に残る卒業文集になると思います。

関口 私も手書きの方がよいと思います。学校のパソコンは、利用できる場所や時間が限られています。手書きであれば、場所や時間を気にせず、自分のペースで作業を進めることができますので、取り組みやすいと思います。

①ここで、「一度整理をします。それぞれの主張に共通する観点と二つあります。一つ目は、丸山さんと平川さんから出された「記念に残る卒業文集のあり方」についてです。二つ目は、大野さんと関口さんから出された「記念に残る卒業文集のあり方」についてです。では最初に、手書きの立場からパソコンを使う立場に対して、二つの観点それぞれについての質問や意見を出してもらいます。まず、一つ目の「ア」から、質問や意見をお願いします。

丸山 ①丸山さんの発言に対して質問があります。私はパソコンの操作が得意ではありません。パソコンを使って文章を書くことに慣れている人は、学校に何人ぐらいいると考えていますか。

丸山 はい。手紙の半分ぐらいの人は、使うことに慣れていていると思います。

谷 丸山さんの発言に対して意見があります。全員がパソコンを使いこなせるわけではないので、作業に時間がかかってしまい、完成がおそくなります。パソコンを使うよりも、手書きの方がスムーズに取り組みるので、手書きがよいと思います。

林 確かに、パソコンを上手に使えない人は時間がかかると言います。そうであれば、使い慣れている人が、そうでない人に教えながら取り組むこともできると言います。

あなた はかにありませんか。(発言がないことを確かめ)ないようであれば、次に、二つ目の「記念に残る卒業文集のあり方」について、質問や意見をお願いします。

大野さんの発言に対して、□□があります。

イ

二 【討論会の様子】の中の林さん⑤の質問は、どのようなねらいがあると考えられますか。その説明として最もふさわしいものを、1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 相手の主張の内容と自分の主張の内容との共通点を知らうとしている。

2 相手の主張に対する自分の考えが理解されているかどうかを確認しようとしている。

3 相手の主張の中で述べられていないことがらをくわしく聞き出そうとしている。

4 相手の主張の中に理由が述べられていないことを明らかにしようとしている。

三 あなたは、「討論会の様子」の中のイのところで、大野さん⑥の発言に対して、手書きの立場から「質問」か「意見」かのどちらかを述べます。解答用紙の□□の中に「質問」か「意見」(条件)のどちらかを記入し、その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

○ 大野さん⑥の発言の中の言葉を、「」を使って引用して書くこと。なお、「」の中に引用する言葉は二十五字以内とする。

○ 書き出しの文に続けて、八十文字以上、百字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの文は字数にふくむ。

大野さんの発言に対して□□があります。

100字 80字

## 1. 出題の趣旨

目的や意図に応じて、計画的に討論することができるかどうかをみる。

本問は、「4年間のまとめ【小学校編】」において、「司会の役割を果たしたり、立場や根拠を明確にしたりして話し合うこと」に課題があると指摘していることを踏まえて出題した。

互いの立場や考えを尊重しながら言葉で伝え合う力を高めることは、国語科の学習のみならず、各教科等の学習や日常生活においても大切である。話し合いには、グループや学級全体での共通理解や問題解決に向けて、相互の知識や考え、意見などを出し合い一つにまとめていく協議と、互いの考えの違いを大事にしながら多くの考えを関係付けていく討論とがある。いずれの場合も、互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合いを進める能力や態度が必要となる。

本問では、「卒業文集はパソコンを使ってつくるか、手書きにするか」という議題で、それぞれの立場に分かれて討論会を行う場面を設定した。ここでは、司会がそれぞれの立場からの主張を整理し、要約しながら討論を進めていることを捉えることや、参加者として立場や意図を明確にして質問や意見をすることなどが求められる。

なお、学習指導要領改訂に伴い、「調べたことやまとめたことについて、討論などをする」という言語活動例が新たに例示された。このことに関する問題を取り上げたのは、今回が初めてである。

### ■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと

イ 調べたことやまとめたことについて、討論などをする。

## 2. 解説

### 設問一

#### 趣旨

目的に応じて、話し合いの観点を整理することができるかどうかをみる。

本設問では、司会が討論を進める上で重要な観点を整理している場面を設定した。ここでは、「パソコンを使う立場」と「手書きの立場」それぞれの立場の主張の共通点を捉え、話し合いの観点を簡潔に整理して書くことが求められる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと

オ 互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。

### ■評価の観点

話す・聞く能力



## 解答類型

問題番号	解答類型	正答
1	<p>(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。</p> <p>① 二人の発言に共通する言葉を使い、以下の内容をまとめて書いている。</p> <p>a 作業 b 取り組みやすい</p> <p>② 12字以内で書いている。</p> <p>(正答例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作業への取り組みやすさ (11字)</li> <li>作業への取り組み (8字)</li> </ul>	
1	条件① a, b の両方と、条件②を満たしているもの	◎
2	条件① a または b のいずれか一方と、条件②を満たしているもの (例) ○ 作業の仕方 (5字) ○ 取り組みやすさ (7字)	○
3	条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの (例) ○ 手書きとパソコンの作業への取り組みやすさ (20字) →上記の例は、12字以内にまとめて書いていない。	
9	上記以外の解答	
0	無解答	

### ■正答について

- 卒業文集を制作する際、丸山さん①は、パソコンを使う立場から「パソコンであれば、何度でも簡単に書き直すことができるので、作業に取り組みやすいと思います。」と述べ、平川さん③は手書きの立場から「手書きであれば、場所や時間を気にせず、自分のペースで作業を進めることができるので、取り組みやすいと思います。」と述べている。この二人の主張は、「作業」に「取り組みやすい」ことに着目している点で共通している。このことを的確に捉えた上で、共通する観点を12字以内にまとめて書く必要がある。

### ■誤答について

- 丸山さん①と平川さん③の主張に共通する、「作業」と「取り組みやすい」という内容のいずれか一方にも触れていないものは誤答とする。

### (参考)

#### ○関連する問題

- 平成19年度【小学校】国語B 1 (63.1%)  
(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P. 4～P. 5, P. 50～P. 51  
「平成19年度【小学校】解説資料」P. 36～P. 39  
「平成19年度【小学校】報告書」P. 114～P. 115
- 平成23年度【小学校】国語B 1 設問二(1)  
(参照)「平成23年度【小学校】解説資料」P. 37～P. 38, P. 40  
「平成23年度【小学校】授業アイディア例」P. 3



## 設問二

### 趣旨

質問の意図を捉えることができるかどうかをみる。

本設問では、手書きの立場からパソコンを使う立場に対して質問をする場面を設定した。ここでは、林さんが、丸山さんの主張の中で述べられていない事柄を詳しく聞き出すという意図で質問していることを捉える必要がある。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと

エ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。

### ■評価の観点

話す・聞く能力

### 解答類型

問題番号		解 答 類 型			正答	
1	二	1	1 と解答しているもの			
		2	2 と解答しているもの			
		3	3 と解答しているもの			◎
		4	4 と解答しているもの			
		9	上記以外の解答			
		0	無解答			

### ■正答について

- 丸山さん①は、主張の理由として「パソコンであれば、何度でも簡単に書き直すことができるので、作業に取り組みやすい」と述べているが、学級の中でどれくらいの人がパソコンの操作に慣れているかということについては言及していない。その点に注目し、林さん⑤は、「パソコンを使って文章を書くことに慣れている人は、学級に何人ぐらいいると考えていますか。」と、述べられていない事柄について詳しい情報を聞き出すための質問をしている。このような狙いを基に、林さん⑤が質問をしていることについての的確に捉える必要がある。

### ■誤答について

- 選択肢 1, 2, 4 は、林さん⑤の質問の狙いとしてあてはまらないので誤答である。

(参考)

○関連する問題

- ・平成20年度【小学校】国語B<sup>1</sup>— (76.7%)  
(参照)「平成20年度【小学校】解説資料」P. 34～P. 35, P. 37  
「平成20年度【小学校】報告書」P. 162～P. 163
- ・平成22年度【小学校】国語B<sup>3</sup>≡ (70.1%)  
(参照)「平成22年度【小学校】解説資料」P. 46～P. 47  
「平成22年度【小学校】報告書」P. 134～P. 135  
「平成22年度【小学校】授業アイデア例」P. 4
- ・平成24年度【小学校】国語A<sup>2</sup> (65.5%)  
(参照)「平成24年度【小学校】解説資料」P. 14～P. 16  
「平成24年度【小学校】報告書」P. 124～P. 126  
「平成24年度【小学校】授業アイデア例」P. 1

**設問三**

趣旨

立場を明確にして、質問や意見を述べることができるかどうかをみる。

本設問では、大野さんの主張に対して、「手書きの立場」から質問や意見を述べる場面を設定した。ここでは、大野さんの発言を引用した上で、それに対する質問や意見を条件に合わせて述べることが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

- 〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと  
エ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。
- 〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと  
ウ 事実と感想、意見などとを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いた  
り詳しく書いたりすること。

■評価の観点

国語への関心・意欲・態度  
話す・聞く能力  
書く能力

# 解答類型

問題番号		解 答 類 型	正 答
1	三	<p>(正答の条件)</p> <p>次の条件を満たして解答している。</p> <p>① 手書きの立場に立って質問、意見のどちらかを選択した上で、その内容を書いている。</p> <p>② 大野さん②の発言の中の言葉を「 」を使い、25字以内で引用して書いている。</p> <p>③ 書き出しの文に続けて、80字以上、100字以内で書いている。</p> <p>(正答例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (大野さんの発言に対して) 質問 (があります。) 「去年の卒業文集には読みにくいところがありました」と言いましたが、どの部分が読みにくかったですか。また、文字以外に読みにくいところはありませんでしたか。(94字)</li> <li>・ (大野さんの発言に対して) 意見 (があります。) パソコンであれば、「文字の形や大きさがそろう」と言いましたが、手書きでも原こう用紙のますに合わせるといねいに書けば、読みやすい文集になると思います。(94字)</li> </ul>	
		1 条件①、②、③を満たしてるもの	◎
		2 条件①、②は満たしているが、条件③は満たしていないもの	
		<p>(例1)</p> <p>○ (大野さんの発言に対して) 質問 (があります。) 「文字の形や大きさがそろうので、読みやすくなります」と言いましたが、イラストについてはどう考えていますか。(73字)</p> <p>→上記の例は、文字数が80字を超えていない。</p> <p>(例2)</p> <p>○ (大野さんの発言に対して) 意見 (があります。) 「記念に残る卒業文集」と言いましたが、わたしは、関口さんの意見と同じように、自分が書いた文字を残した方が卒業記念に残ると思います。手書きの方がそのときの様子や気持ちを思い出すのではないかと考えます。(119字)</p> <p>→上記の例は、文字数が100字を超えている。</p>	
		3 条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの	
		<p>*条件③を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <p>○ (大野さんの発言に対して) 質問 (があります。) 「パソコンであれば、文字が上手かどうかに関係なく、文字の形や大きさがそろうので、読みやすくなります」と言いましたが、だれが文字の形や大きさを決めるのですか。(98字)</p> <p>→上記の例は、引用の言葉を25字以内で書いていない。</p>	
		4 条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの	
		<p>*条件③を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <p>○ (大野さんの発言に対して) 意見 (があります。) 大野さんは、文字の形や大きさをそろえるのに「パソコンを使う方がよい」と言いました。わたしも、パソコンは便利でかん単に使うことができるので、手書きよりもパソコンを使う方がよいと思います。(112字)</p> <p>→上記の例は、「手書きの立場」に立って、考えを書くことができていない。</p>	
		9 上記以外の解答	
		0 無解答	

## ■正答について

- 大野さん②の発言について、「手書きの立場」から、質問か意見かを述べる必要がある。その際、大野さん②の発言における主張と理由との整合性や、主張そのものの妥当性、客観性などについて質問か意見かを述べるのが重要である。これらを踏まえた上で、大野さん②の発言の中の言葉を、「 」を使って25字以内で引用し、80字以上、100字以内にまとめて書く必要がある。

## ■誤答について

- 「手書きの立場」から質問や意見を述べていないものや、大野さん②の発言の言葉を25字以内で引用することができていないものは誤答とする。

## (参考)

### ○関連する問題

- ・平成21年度【小学校】国語B②(25.9%)  
(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P. 4～P. 5, P. 54～P. 55, P. 97  
「平成21年度【小学校】解説資料」P. 40～P. 41  
「平成21年度【小学校】報告書」P. 201～P. 203  
「平成21年度【小学校】授業アイディア例」P. 3
- ・平成24年度【小学校】国語B②(52.9%)  
(参照)「平成24年度【小学校】解説資料」P. 46～P. 48, P. 50～P. 51  
「平成24年度【小学校】報告書」P. 156～P. 157, P. 160～P. 161  
「平成24年度【小学校】授業アイディア例」P. 3～P. 4

## 3. 学習指導に当たって

### (1) 司会の役割を理解し、立場や意図を捉えながら討論を進める（対応設問：設問一）

討論を円滑に進めるためには、司会はその果たす役割を理解し、違う立場から出されたそれぞれの意見を整理することが重要である。一方、参加者は司会の果たす役割を理解した上で協働的な態度で討論を進めることが大切である。

司会の能力を高めるためには、司会の具体的な話し方やまとめ方を学習する場を設けることが考えられる。その際、モデルとなる討論会の様子を動画で視聴したり、話合いの後に司会の進行について良かった点や改善点などを交流し合ったりするように指導することが効果的である。また、多くの児童が司会を経験することも重要である。

### (2) 互いの立場や意見を踏まえた上で、質問や意見をする（対応設問：設問二・三）

討論会においては、自分の意見と相手の意見とを比較して、立場や意見の違いを明確にした上で、質問や意見を述べるのが重要である。そのためには、相手の意見を引用したり、根拠となる事実を明確にしたりして話すことができるように指導することが大切である。

具体的には、話し手の目的や意図は何か、伝えたいことは何か、共に考えたいことは何かなどといった観点に基づいて、相手の話の内容を十分聞き取ることができるように指導することが考えられる。その際、必要に応じてメモを取るようにし、取り上げられた内容について、自分の考えとの共通点や相違点、関連して考えたことなどを整理した上で、自分の考えをまとめるように指導することが効果的である。

#### (参照)

- ・「言語活動事例集【小学校版】」P. 57～P. 58
- ・「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【小学校国語】」P. 48
- ・「今、求められる力を育てる総合的な学習の時間の展開」P. 44





『動物の体』の目次

目次	
頭……………6	毛……………114
目……………26	手……………131
耳……………44	足……………158
鼻……………68	しっぽ……………175
口……………91	

『動物図鑑』のさくいん

さくいん	
カ	ハ
カバ……………69	パンダ……………128
カモノハシ……………97	ビーバー……………105
カンガルー……………159, 183	ヒツジ……………123
キリン……………12, 163	ヒョウ……………170
	フクロウ……………35
	ブタ……………71
	フラミンゴ……………168

※『さくいん』…本の中に出てくる主な言葉を順序よく並べ、書かれているページを記したもの。

三 『原田さんのふせん』④には、新たな疑問が書かれています。原田さんは、この疑問を解決するために、次の『動物の体』と『動物図鑑』の二冊の本を使って調べました。それぞれどのページから読み進めたらよいですか。『動物の体』の目次に書かれているページの番号を一つ、『動物図鑑』のさくいんに書かれているページの番号を二つ選んで、それぞれ書きましょう。

すぐれた鼻を使うことで、

※左の原田さんは下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。  
※●の印から書きましょう。どちらかで行を定めないで、続けて書きましょう。

## 1. 出題の趣旨

科学に関する本や文章を効果的に読み、分かったことや疑問に思ったことを関係付けながらまとめて書くことができるかどうかをみる。

本問は、「4年間のまとめ【小学校編】」において、「目的に応じて必要となる情報を取り出し、それらを関係付けて読むこと」に課題があると指摘していることを踏まえて出題した。

自分の課題を解決するために、科学に関する本や文章などを読み、書かれている内容と生活経験や既存の知識などとを関係付けて考えをまとめることは重要である。

本問では、二人のそれぞれの課題を解決するために、同じ文章を読み、読み取った情報を付箋に書いて整理し、文章にまとめて書く場面を設定した。また、新たな課題を解決するために、目次や索引を活用して、本を効果的に読む場面を設定した。これらにおいては、必要な情報を取り出し、それらを関係付けながらまとめて書くことや、必要な情報を得るために、目次や索引の中から情報を読み取ることが求められる。

なお、科学に関する本の利用について取り上げたのは、今回が初めてである。

### ■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

イ 自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること。



## 2. 解説

### 設問一

#### 趣旨

付箋に書かれた内容を関係付けながら，最初にもった疑問を捉えることができるかどうかをみる。

本設問では，ゾウの鼻についての疑問を基に科学に関する本や文章を読み，読み取った情報を付箋に書く場面を設定した。ここでは，付箋に書かれた内容を関係付けながら，原田さんが最初にもった疑問を推測し，まとめて書くことが求められる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

ウ 目的に応じて，文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり，事実と感想，意見などとの関係を押さえ，自分の考えを明確にしながら読んだりすること。

#### ■評価の観点

読む能力

#### 解答類型

問題番号	解答類型	正答
②	<p>（正答の条件） 次の条件を満たして解答している。</p> <p>① 次の a～c のうち，一つ以上の内容を取り上げている。</p> <p>a 「（ゾウの鼻は）どうして長いのか。」（理由） b 「（ゾウの鼻は）どのようにして長くなったのか。」（経緯） c 「長い鼻を使うことでどのようなことができるのか。」（役目）</p> <p>② 15字以上，40字以内で書いている。</p> <p>（正答例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゾウの鼻はどうして長いのか、また、長い鼻を使うことでどのようなことができるのか。（40字）</li> <li>・ ゾウの鼻はどうして長いのか、また、どのようにして長くなったのか。（32字）</li> <li>・ ゾウの鼻はどのようにして長くなったのか、また、鼻の役目は何か。（31字）</li> <li>・ ゾウの鼻が長い理由と鼻の役目は何か。（18字）</li> <li>・ ゾウの鼻はどうして長いのだろうか。（17字）</li> <li>・ ゾウの鼻はどうして長くなったのか。（17字）</li> <li>・ ゾウは長い鼻を使うことで、どのようなことができるのか。（27字）</li> </ul>	
	1 条件①，②を満たしているもの	◎
	2 条件①は満たしているが，条件②は満たしていないもの （例） ○ ゾウの鼻の役目は何か。（11字） →上記の例は，文字数が15字を超えていない。	
	9 上記以外の解答	
	0 無解答	



## ■正答について

- 【原田さんのふせん】①から③までの内容は、【原田さんの疑問】に端を発し、【科学読み物】を読んで分かったこととして、ゾウの鼻について、その長い理由、長くなった経緯、役目などが書かれている。このことを踏まえた上で、【原田さんのふせん】①から③までの内容から【原田さんの疑問】を推測し、15字以上、40字以内にまとめて書く必要がある。

## ■誤答について

- 【原田さんのふせん】①から③までの内容を踏まえて、ゾウの鼻について、その長い理由、長くなった経緯、役目について、いずれも取り上げないで解答しているものは誤答とする。

(参考)

### ○関連する問題

- ・平成19年度【小学校】国語B[2]— (61.0%)  
(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P. 10～P. 11, P. 76～P. 77  
「平成19年度【小学校】解説資料」P. 40～P. 42, P. 45  
「平成19年度【小学校】報告書」P. 117～P. 118
- ・平成20年度【小学校】国語B[3]— (39.4%)  
(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P. 10～P. 11, P. 82～P. 88  
「平成20年度【小学校】解説資料」P. 44～P. 46, P. 48  
「平成20年度【小学校】報告書」P. 169～P. 170

## 設問二

### 趣旨

分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書くことができるかどうかをみる。

本設問では、付箋を整理しながら、最初にもった疑問に対するまとめを書く場面を設定した。ここでは、複数の内容を一文にまとめたり、「例えば」という言葉を使って具体的な事例を示したりして、条件に合わせて文章を書くことが求められる。

## ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

## ■評価の観点

国語への関心・意欲・態度

読む能力

書く能力

# 解答類型

問題番号		解 答 類 型	正 答
②	二	<p>(正答の条件)</p> <p>次の条件を満たして解答している。</p> <p>① ふせん③の内容について、<span style="background-color: #cccccc;">      </span>部の二文を一文にし、以下の内容を取り上げている。</p> <p>a 水場や食べ物をさがすことができる。</p> <p>*「水場」、「食べ物」のいずれか一方のみを取り上げているものも含む。</p> <p>b 仲間を見つけることができる。</p> <p>② ふせん④の内容について、「例えば」という言葉を使って書いている。</p> <p>③ 書き出しの言葉に続けて、100字以上、120字以内で書いている。</p> <p>(正答例)</p> <p>・ (「すぐれた鼻を使うことで、」以下、この書き出しの言葉は省略する。) 水場や食べ物をさがすことや、仲間を見つけることもできる。調べていくうちに新たなぎ問も出た。においを感じ取ることにすぐれた動物とはどのような動物かということだ。例えば、イヌはどれくらい先のにおいを感じ取るのか調べたい。(120字)</p>	
		<p>1 条件①、②、③を満たしているもの</p> <p>2 条件①、②は満たしているが、条件③は満たしていないもの</p> <p>(例)</p> <p>○ 水場をさがすことや食べ物をさがすことができるし、においのちがいで仲間を見つけることもできる。調べていくうちに新たなぎ問も出た。においを感じ取ることにすぐれた動物はどのような動物かということだ。例えば、イヌはどれくらい先のにおいを感じ取るのか調べたい。(137字)</p> <p>→上記の例は、文字数が120字を超えている。</p>	◎
		<p>3 条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの</p> <p>*条件③を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <p>○ 水場や食べ物をさがすことや、仲間を見つけることもできる。調べる中で新たなぎ問も出た。においを感じ取ることにすぐれた動物についてだ。イヌは、どれくらい先のにおいを感じ取るのか調べたい。(103字)</p> <p>→上記の例は、ふせん④の内容について、「例えば」という言葉を使って書いている。</p>	
		<p>4 条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの</p> <p>*条件③を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <p>○ 水場や食べ物をさがすことができる。また、仲間を見つけることもできる。調べる中で新たなぎ問も出た。においを感じ取ることにすぐれた動物とは何かについてだ。例えば、イヌはどれくらい先のにおいを感じ取るのか調べたい。(116字)</p> <p>→上記の例は、ふせん③の内容について、<span style="background-color: #cccccc;">      </span>部の二文を一文にして書いている。</p>	
		9 上記以外の解答	
		0 無解答	

## ■正答について

- 【野口さんのふせん】③については、「すぐれた鼻を使うことで、水場や食べ物をさがすこともできます。」と「また、においのちがいで仲間を見つけることもできます。」という二文を一文にして書く必要がある。また、【野口さんのふせん】④については、野口さんが新たな疑問として、においを感じ取ることに優れた動物に注目していることを捉えた上で、その具体例として挙げている、イヌがにおいを感じ取る距離について「例えば」という言葉を使って書くことを求めている。これらを踏まえた上で、100字以上、120字以内にまとめて書く必要がある。

## ■誤答について

- 【野口さんのふせん】③の内容を一文にして書いていないものや、【野口さんのふせん】④の内容について「例えば」という言葉を使って書いていないものは誤答とする。

## (参考)

### ○関連する問題

- ・平成20年度【小学校】国語B<sup>2</sup>三 (45.3%)  
(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P. 10～P. 11, P. 80～P. 81  
「平成20年度【小学校】解説資料」P. 42～P. 43  
「平成20年度【小学校】報告書」P. 168
- ・平成22年度【小学校】国語B<sup>4</sup> (65.7%)  
(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P. 10～P. 11, P. 84～P. 86, P. 106  
「平成22年度【小学校】解説資料」P. 48～P. 50  
「平成22年度【小学校】報告書」P. 136～P. 139  
「平成22年度【小学校】授業アイディア例」P. 5
- ・平成25年度【小学校】国語B<sup>2</sup>三 (17.9%)  
(参照)「平成25年度【小学校】解説資料」P. 46～P. 49  
「平成25年度【小学校】報告書」P. 60～P. 64  
「平成25年度【小学校】授業アイディア例」P. 11～P. 12

## 設問三

### 趣旨

課題を解決するために、目次や索引を活用して、本を効果的に読むことができるかどうかをみる。

本設問では、新たな課題を解決するために、二冊の本を読む場面を設定した。ここでは、本の目次や索引から必要な情報が掲載されたページを正確に書くことが求められる。

## ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。

## ■評価の観点

読む能力

## 解答類型

問題番号		解 答 類 型		正 答
2	三	1	目次に「68」ページ、さくいんに「69」ページ、「71」ページと解答しているもの	◎
		2	さくいんに「69」ページ、「71」ページと解答しているが、目次に「68」ページと解答していないもの	
		3	目次に「68」ページと解答しているが、さくいんに「69」ページ、「71」ページと解答していないもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

### ■正答について

- 【原田さんのふせん】④では、「カバやブタは、鼻を使って何ができるのか。」という新たな疑問が示されている。このことを踏まえ、目次については「鼻」の内容が書かれている「68」ページから読み進めることが求められる。また索引については「カバ」と「ブタ」について書かれている「69」ページと「71」ページを読むことが求められる。これらを的確に捉えた上で、ページの番号を書く必要がある。

### ■誤答について

- 目次に「68」ページ、索引に「69」ページ、「71」ページと解答していないものは誤答とする。

(参考)

#### ○関連する問題

- 平成19年度【小学校】国語B 4 (63.0%)

(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P. 10～P. 11, P. 78～P. 79

「平成19年度【小学校】解説資料」P. 49～P. 50

「平成19年度【小学校】報告書」P. 125

## 3. 学習指導に当たって

- (1) 疑問に思ったことや分かったことなどを関係付けながら自分の考えを広げたり深めたりする  
(対応設問：設問一・二)

自分の課題を解決するために、科学に関する本や文章などを読み、疑問に思ったことや分かったことなどを関係付けながら自分の考えを広げたり深めたりすることが重要である。そのためには、児童が主体的に必要な情報を収集し整理する中で、自分の考えの広がりや深まりを実感できるように指導することが大切である。

具体的には、設問二で示したように、疑問に思ったことや分かったことなどを、付箋を使って分類することで、最初の疑問がどのように解決されたのか、新しい疑問がどのような事実から生まれたのかなど、課題解決の過程を振り返ることができるように指導することが考えられる。その際、疑問に思ったこと、分かったことなどを色の違う付箋に書き分けることで、事実と感想、意見などを区別して捉えることができるように指導することが効果的である。

(参照)

- 「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【小学校国語】」P. 55
- 「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（小学校編）」P. 31

## (2) 調べ学習に関連する本や文章を効果的に読む (対応設問：設問三)

調べ学習を行う際、関連する様々な本や文章を併せて読むことが重要である。そのためには、興味をもったことや疑問に思ったことの中から課題を設定し、それに対する解答や結果の予想を立て、どのような方法で必要な情報を収集するとよいかなど、解決のための見通しをもって本や文章を読むことができるように指導することが大切である。その際、十進分類法の概略や本の配置についての知識、目次や索引の使い方、事典などの特色などを知り、発達の段階に応じて本の活用の仕方を身に付けることができるようにすることが大切である。

(参照)

- ・「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【小学校国語】」  
P. 44～P. 45

## 4. 出典等

<科学読み物>

- ・絵 木村しゅうじ 解説 小森厚 『どうぶつえんのどうぶつあんない』  
(1985年 7月 株式会社福音館書店)
- ・監修 中川志郎 構成・文 わしおとしこ 『ふしぎ発見シリーズ② どうぶつのはな』  
(1995年 3月 株式会社アリス館)
- ・著者 カー・ウータン博士 絵 カナヨ・スギヤマ 『ANIMAL PICTURES BOOK ゾウの本』  
(1997年 2月 株式会社講談社)
- ・監修 柴内俊次 構成・文 有限会社ネイチャー・プロ編集室 『進化がわかる動物図鑑 ゾウ・ハイラックス・ジュゴン』(1998年 3月 株式会社ほるぷ出版)
- ・文 オナー・ヘッド 絵 マシュー・ニコラス 日本語版監修 今泉忠明 訳 ゆりよう子  
『どうぶつのおやこ ゾウ』(2000年 3月 株式会社小峰書店)
- ・著者 吉村卓三 『おかしいきもの』(2002年 4月 株式会社コスモトゥーワン)
- ・監修 成島悦雄 文 佐々木聖／三品隆司／高岡昌江／西川寛  
『これだけは知っておきたい (2) 動物の大常識』(2003年 9月 株式会社ポプラ社)
- ・監修 今泉忠明 執筆 大木邦彦 『ポプラディア情報館 動物のふしぎ』  
(2008年 3月 株式会社ポプラ社)
- ・文 山本省三 絵 喜多村武 監修 遠藤秀紀 『動物ふしぎ発見 ゾウの長い鼻には、  
おどろきのわけがある!』(2008年 3月 株式会社くもん出版)
- ・監修 増井光子 『くらべてみよう! どうぶつのあかちゃん③ ゾウ』  
(2008年 3月 株式会社ポプラ社)
- ・監修 増井光子 編著 ネイチャー・プロ編集室 『どうぶつのからだ② どうぶつの鼻』  
(2010年 1月 株式会社偕成社)

などによる。

<写真>

- ・監修 堀浩 写真撮影 内山晟 『BIG SCIENCE おおきなかがく この はな だれの?』  
(2006年 6月 株式会社ひさかたチャイルド) による。

3 北川さんの学級では、まど・みちおがたんばを題材にして書いた「詩1」と「詩2」を比べて読み考えたことについてグループに分かれて交流することになりました。この二つの詩と「グループでの交流の様子」をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【附1】

(まど・みちお「タンポポ」による。)



【詩2】

(まど・みちお「たんぼぼさんがよんだ」による。)



※「グループでの交流の様子」は、次のページにあります。

（『詩1』と『詩2』は、まど・みちお『全詩集』による。）

「グループでの交流の様子」

北川 まど・みちおさんの二つの詩を読んで、考えたことをみんなで交流しよう  
まず、【詩1】について話し合おう。

竹内 この詩は、二つの連があって、第二

北

その「タンホホ」のことを、イヌは「ワンフォフォ」、ウシは「ター  
 そーそ」と表現しているところは、それぞれの動物たちの **ア** を


山田 「タンポポ」という言葉のひびきに重ねているようだが、確かに、そうだね。でも、ナメタジの「タヌーベ」とい

中西さん  
田中さん

竹内  
そうか。ところで、ヘビは「タンポポ」のこと  
だったら、「タンニョロ」と呼ぶかもしれないわ。

と呼ぶのかな。私

山田 次は、【詩2】

について考えてみよう。この詩は、三つの連があつて、それぞれの連の中で

くり返し使われて  
そうね。「あー」

「い」の言葉があるね。  
らひょーら、ぶーら  
しよ」といふ言葉は、第一連では「イ」呼び、

第二連では、  
それにしても、

呼んでいるね。第三連では  
この言葉はだれの声なのかしら。

**エ** 呼びかけていることが分かるわ

北川 題名にもある  
中西 私は、「たんぼ

「ぼさん」の呼びかけに対する「みんな」の返事の声だと思っわ。

山田　　そうかな。ほい

「たんぼぼさん」と「みんな」が会話をしている声だと思ふよ。のはずいぶん感じがするんだ。それに對して、「みんな」が面をそろえて、「しよー」と読すると、「たんぼぼさん」が「あーら ひょーら ぶーら」とリズムに

と返事をしていのではないかな

	7
	2
-	1
-	1
-	5
-	1
-	7
-	6
-	7
-	3
-	9
-	8
-	2
-	4
-	0
-	1
-	6

北川  
それでは、二

つの詩を比べることにしよう。どちらの詩も、たんばぼと周りの生き物との

仲のよい様子が、  
持ちが伝わって、

「ダンボボ」のことが好きだという動物たちの気配が感じられるね」  
詩1は、

分かる様。

7  
 8  
 9  
 10  
 11  
 12  
 13  
 14  
 15  
 16  
 17  
 18  
 19  
 20  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50  
 51  
 52  
 53  
 54  
 55  
 56  
 57  
 58  
 59  
 60  
 61  
 62  
 63  
 64  
 65  
 66  
 67  
 68  
 69  
 70  
 71  
 72  
 73  
 74  
 75  
 76  
 77  
 78  
 79  
 80  
 81  
 82  
 83  
 84  
 85  
 86  
 87  
 88  
 89  
 90  
 91  
 92  
 93  
 94  
 95  
 96  
 97  
 98  
 99  
 100  
 101  
 102  
 103  
 104  
 105  
 106  
 107  
 108  
 109  
 110  
 111  
 112  
 113  
 114  
 115  
 116  
 117  
 118  
 119  
 120  
 121  
 122  
 123  
 124  
 125  
 126  
 127  
 128  
 129  
 130  
 131  
 132  
 133  
 134  
 135  
 136  
 137  
 138  
 139  
 140  
 141  
 142  
 143  
 144  
 145  
 146  
 147  
 148  
 149  
 150  
 151  
 152  
 153  
 154  
 155  
 156  
 157  
 158  
 159  
 160  
 161  
 162  
 163  
 164  
 165  
 166  
 167  
 168  
 169  
 170  
 171  
 172  
 173  
 174  
 175  
 176  
 177  
 178  
 179  
 180  
 181  
 182  
 183  
 184  
 185  
 186  
 187  
 188  
 189  
 190  
 191  
 192  
 193  
 194  
 195  
 196  
 197  
 198  
 199  
 200  
 201  
 202  
 203  
 204  
 205  
 206  
 207  
 208  
 209  
 210  
 211  
 212  
 213  
 214  
 215  
 216  
 217  
 218  
 219  
 220  
 221  
 222  
 223  
 224  
 225  
 226  
 227  
 228  
 229  
 230  
 231  
 232  
 233  
 234  
 235  
 236  
 237  
 238  
 239  
 240  
 241  
 242  
 243  
 244  
 245  
 246  
 247  
 248  
 249  
 250  
 251  
 252  
 253  
 254  
 255  
 256  
 257  
 258  
 259  
 260  
 261  
 262  
 263  
 264  
 265  
 266  
 267  
 268  
 269  
 270  
 271  
 272  
 273  
 274  
 275  
 276  
 277  
 278  
 279  
 280  
 281  
 282  
 283  
 284  
 285  
 286  
 287  
 288  
 289  
 290  
 291  
 292  
 293  
 294  
 295  
 296  
 297  
 298  
 299  
 300  
 301  
 302  
 303  
 304  
 305  
 306  
 307  
 308  
 309  
 310  
 311  
 312  
 313  
 314  
 315  
 316  
 317  
 318  
 319  
 320  
 321  
 322  
 323  
 324  
 325  
 326  
 327  
 328  
 329  
 330  
 331  
 332  
 333  
 334  
 335  
 336  
 337  
 338  
 339  
 340  
 341  
 342  
 343  
 344  
 345  
 346  
 347  
 348  
 349  
 350  
 351  
 352  
 353  
 354  
 355  
 356  
 357  
 358  
 359  
 360  
 361  
 362  
 363  
 364  
 365  
 366  
 367  
 368  
 369  
 370  
 371  
 372  
 373  
 374  
 375  
 376  
 377  
 378  
 379  
 380  
 381  
 382  
 383  
 384  
 385  
 386  
 387  
 388  
 389  
 390  
 391  
 392  
 393  
 394  
 395  
 396  
 397  
 398  
 399  
 400  
 401  
 402  
 403  
 404  
 405  
 406  
 407  
 408  
 409  
 410  
 411  
 412  
 413  
 414  
 415  
 416  
 417  
 418  
 419  
 420  
 421  
 422  
 423  
 424  
 425  
 426  
 427  
 428  
 429  
 430  
 431  
 432  
 433  
 434  
 435  
 436  
 437  
 438  
 439  
 440  
 441  
 442  
 443  
 444  
 445  
 446  
 447  
 448  
 449  
 450  
 451  
 452  
 453  
 454  
 455  
 456  
 457  
 458  
 459  
 460  
 461  
 462  
 463  
 464  
 465  
 466  
 467  
 468  
 469  
 470  
 471  
 472  
 473  
 474  
 475  
 476  
 477  
 478  
 479  
 480  
 481  
 482  
 483  
 484  
 485  
 486  
 487  
 488  
 489  
 490  
 491  
 492  
 493  
 494  
 495  
 496  
 497  
 498  
 499  
 500  
 501  
 502  
 503  
 504  
 505  
 506  
 507  
 508  
 509  
 510  
 511  
 512  
 513  
 514  
 515  
 516  
 517  
 518  
 519  
 520  
 521  
 522  
 523  
 524  
 525  
 526  
 527  
 528  
 529  
 530

中西　この二つの詩  
みたくなつたわ

以外にも、「たんぼぼ」を題材にした詩はあるのかしら。ほかの詩も調べて

全員　　そうだね。調

へてみよう。

一「グループでの交流の様子」では、「詩1」と「詩2」について、それぞれが考えたことを話し合っています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 

ア
---

 の中に入る、最もふさわしいものを、1から3までの中から一つ選んで、その番号を

- |    |     |     |
|----|-----|-----|
| 3  | 2   | 1   |
| 名前 | 気持ち | 鳴き声 |



(2) イ・ウ・エ の中に入る、最もふさわしいものを、1から3までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。ただし、同じ番号は一回しか入りません。

1 ささまざまな方向から  
2 多くの相手に  
3 いろいろな声で

二 「グループでの交流の様子」の    の中で、山田さんは、どのようなことに注目して考えたことを述べていますか。その内容として最もふさわしいものを、1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 題名に使われている言葉  
2 声に出したときの言葉の調子やひびき  
3 それぞれの連での問いかけの表現  
4 「みんな」が走っているときの様子

三 あなたは、「詩1」と「詩2」を比べて読んで、どのようなことを考えましたか。次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)

- 詩の内容や表現の仕方などについて、共通点やちがう点を取り上げて書くこと。
- 「たんぽぽ」と「まど・みちお」の両方の言葉を使って書くこと。
- 八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

※左の解答用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。  
※●の印から書きましょう。どちらの手で字を書かないで、続けて書きましょう。

100字 80字

## 1. 出題の趣旨

二つの詩を比べて読み、内容や表現の工夫を捉えるとともに、それらについて自分の考えを書くことができるかどうかをみる。

詩を読むことは、語感や言葉の使い方に対する感覚や、豊かな情操を育てる上で重要である。その際、同じ題材の詩や、同じ作者の詩を読むことで、詩の内容や表現の工夫、作者のものの見方や考え方について理解を深めることが大切である。

本問では、まど・みちおが書いた「タンポポ」と「たんぽぽさんが よんだ」の二つの詩を比べて読んだ後、考えたことについてグループで交流する場面を設定した。ここでは、それぞれの詩の内容や表現の工夫を捉えることや、共通点や相違点に着目して自分の考えを書くことなどが求められる。

なお、二つの詩を比べて読むことを取り上げたのは、今回が初めてである。

### ■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第3学年及び第4学年〕 C 読むこと

ア 物語や詩を読み、感想を述べ合うこと。

## 2. 解説

### 設問一

#### 趣旨

二つの詩を比べて読み、表現の工夫を捉えることができるかどうかをみる。

本設問では、二つの詩の内容や表現の工夫を話し合う場面を設定した。設問一(1)では、【詩1】の「ワンフォフォ」や「ターモーモ」が擬声語の表現であることを捉えることが求められる。設問一(2)では、【詩2】のそれぞれの連で使われている言葉（「あーら ひょーら ぷーら しょ」）が連ごとにどのように表現されているかを捉えることが求められる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。

〔第5学年及び第6学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項

(カ) 語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつこと。

#### ■評価の観点

読む能力

言語についての知識・理解・技能

(参考)

#### ○関連する問題

・平成23年度【小学校】国語A 7

(参照)「平成23年度【小学校】解説資料」P. 26～P. 27

#### 解答類型

問題番号		解 答 類 型			正答	
③	一 (1) ア	1	1 と解答しているもの			◎
		2	2 と解答しているもの			
		3	3 と解答しているもの			
		9	上記以外の解答			
		0	無解答			
	一 (2) イ ウ エ	1	イに3、ウに1、エに2と解答しているもの			◎
		2	イに3、エに2と解答しているが、ウに1と解答していないもの			
		3	イに3、ウに1と解答しているが、エに2と解答していないもの			
		4	ウに1、エに2と解答しているが、イに3と解答していないもの			
		5	イに3と解答しているが、ウに1、エに2と解答していないもの			
		6	ウに1と解答しているが、イに3、エに2と解答していないもの			
		7	エに2と解答しているが、イに3、ウに1と解答していないもの			
		9	上記以外の解答			
		0	無解答			



### ■正答について

- 設問一(1)については、【詩1】の「ワンフォフォ」や「ターモーモ」といった表現が、動物の鳴き声を表す擬声語と「タンポポ」という語のリズムとを重ねて表現していることを的確に捉える必要がある。
- 設問一(2)については、【詩2】のそれぞれの連で「どんな こえで?」、「どっちの ほうで?」、「だれを だれを?」といった異なる問いかけの表現があることを捉えることが求められる。このことを踏まえた上で、それぞれの連で繰り返されている言葉に着目し、それがどのような意味を表しているかを的確に捉える必要がある。

### ■誤答について

- 設問一(1)の選択肢2, 3は、「ワンフォフォ」や「ターモーモ」といった表現の特徴としてあてはまらないので誤答である。
- 設問一(2)は、イに3, ウに1, エに2と解答していないものは誤答である。

## 設問二

### 趣旨

詩の解釈における着眼点の違いを捉えることができるかどうかをみる。

本設問では、【詩2】の中で繰り返し使われている言葉（「あーら ひょーら ぷーら しょ」）についての解釈を交流している場面を問題として取り上げた。ここでは、山田さんが音声化によって解釈していることを捉えることが求められる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第3学年及び第4学年〕 C 読むこと

オ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。

### ■評価の観点

読む能力

(参考)

#### ○関連する問題

・平成24年度【小学校】国語A **4** (73.6%)

(参照)「平成24年度【小学校】解説資料」P.20～P.22

「平成24年度【小学校】報告書」P.129～P.131

### 解答類型

問題番号	解答類型	正答
<b>3</b>	二	1 と解答しているもの
		2 と解答しているもの
		3 と解答しているもの
		4 と解答しているもの
		上記以外の解答
		無解答
		◎

### ■正答について

- 【グループでの交流の様子】の□□□□の中で、山田さんが、「のばす音に注目して音読すると、『たんぽぽさん』が『あーら ひょーら ぷーら』とリズムに乗って呼びかけている感じがするんだ。」と、音声化によって気付いた意見を述べていることを的確に捉える必要がある。

### ■誤答について

- 選択肢 1, 3, 4 は、山田さんの発言の内容としてあてはまらないので誤答である。

### 設問三

#### 趣旨

二つの詩を比べて読み、自分の考えを書くことができるかどうかをみる。

本設問では、二つの詩を比べて読み、自分の考えを書く場面を設定した。ここでは、二つの詩の内容や表現の仕方などに着目した上で、共通点や相違点を取り上げ、条件に合わせて自分の考えを書くことが求められる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

ウ 事実と感想、意見などとを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

### ■評価の観点

国語への関心・意欲・態度

読む能力

書く能力

# 解答類型

問題番号	解 答 類 型	正答
③ 三	<p>(正答の条件)</p> <p>次の条件を満たして解答している。</p> <p>① 詩の内容や表現の仕方などについて共通点や相違点を取り上げ、自分の考えを書いている。</p> <p>② 「たんぽぽ」と「まど・みちお」の両方の言葉を使って書いている。</p> <p>③ 80字以上、100字以内で書いている。</p> <hr/> <p>(正答例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二つの詩は、まど・みちおさんの植物や動物を愛する気持ちが伝わってくるという点で共通していると考えました。たんぽぽや動物たちの仲のよい様子を想像することができて、心が温まり、やさしい気持ちになりました。(100字)</li> <li>・ まど・みちおさんは、【詩2】では同じ言葉をくり返し表現しているのに対して、【詩1】ではそれぞれちがうたんぽぽのよび方を表現しています。詩の表現にはいろいろな方法があって、おもしろいと思いました。(97字)</li> <li>・ 二つの詩では、「たんぽぽ」という言葉が、【詩1】ではかたかなで書かれており、【詩2】ではひらがなで書かれている点がちがいます。まど・みちおさんは、文字の使い方を覚えてくふうしているのだなと思いました。(100字)</li> </ul>	
1	条件①, ②, ③を満たしているもの	◎
2	条件①, ②は満たしているが、条件③は満たしていないもの	
	(例)	
	○ 【詩1】と【詩2】の二つの詩では、それぞれ連の数がちがいます。まど・みちおさんは、いろいろな形式でたんぽぽに対する気持ちを表現しているのだなと思いました。(77字)	
	→上記の例は、文字数が80字を超えていない。	
3	条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの	
	*条件③を満たしているかどうかは不問とする。	
	(例)	
	○ 【詩1】と【詩2】はどちらの詩にもちょうちょが出てきます。虫や動物などがたくさん出てきていて、とても楽しそうな様子が想像できます。(65字)	
	→上記の例は、「たんぽぽ」と「まど・みちお」の両方の言葉を使って書いている。	
4	条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの	
	*条件③を満たしているかどうかは不問とする。	
	(例)	
	○ 【詩1】に、「だれでも たんぽぽをすきです」とあるので、まど・みちおさんもたんぽぽの花がすきなのだろうかと思いました。(59字)	
	→上記の例は、二つの詩の共通点や相違点を取り上げて書いている。	
9	上記以外の解答	
0	無解答	

### ■正答について

- 二つの詩を比べて読み、詩の内容や表現の仕方などについて、共通点や相違点を取り上げて書くことを求めている。具体的には、作者と詩の題材が共通していること、どちらの詩においても敬体の表現が使われていることなどが共通点として挙げられる。また、相違点としては、連の構成が異なること、【詩1】では片仮名が多く使われているのに対し、【詩2】では平仮名が多く使われていることなどが挙げられる。これらを踏まえ、「たんぽぽ」と「まど・みちお」という二つの言葉を用いて、考えたことを80字以上、100字以内で書く必要がある。

### ■誤答について

- 「たんぽぽ」と「まど・みちお」という二つの言葉を使っていないものや、詩の共通点や相違点を取り上げて書いていないものは誤答とする。

## 3. 学習指導に当たって

### (1) 詩の内容や表現の工夫を捉える（対応設問：設問一）

詩の内容や表現の工夫を捉えることは、言葉の使い方に対する感覚を豊かにする上で重要である。そのためには、比喩、反復、擬態語、擬声語などの表現や、常体と敬体との違い、表記の仕方、連の構成などについて、具体的な事例を示しながら指導することが大切である。その際、一編の詩だけでなく、同じ作者の作品や、同じ題材の作品を集めて、複数の詩を比べて読むことで、多様な表現の工夫に気付くことができるように指導することが大切である。

### (2) 交流を通して一人一人の感じ方に違いがあることに気付く（対応設問：設問二・三）

詩の解釈について交流し、一人一人の感じ方に違いがあることを理解しながら、自分の考えを広げ、深めていくことが重要である。そのためには、詩を読む目的を明確にして、感想、解説、推薦などの文章として考えをまとめ、発表し合う場面を設けることが考えられる。その際、互いに考えたことがどのように共通したり相違したりしているかなどを明らかにしながら、自分の考えを広げたり深めたりすることが大切である。

また、交流するときには、話し言葉によって発表するだけでなく、感想文集などにまとめ、それを読み合うなどの言語活動に結び付けることが考えられる。普段の学習においても、一人一人の感じ方の違いを認め合う雰囲気をつくり、積極的に自分の考えを発表し合うことの意義を実感できるように工夫して指導することが大切である。

（参照）

- ・「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【小学校 国語】」  
P. 43～P. 44

## 4. 出典等

- ・ まど・みちお『まど・みちお 全詩集』（1992年9月 株式会社理論社）による。

## Ⅳ 解答用紙（正答（例））

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

7011 国語 A 解答用紙 小学校第6学年

7011

↓ くりから右には解答を書いてはいけません。

1		
一		
(3)	いきお	(い)
(2)	がいつ	
(1)	ひょうしき	
二		
(3)	予防	
(2)	祝	(う)
(1)	皿	

2	1	3	11	2
---	---	---	----	---

5	ア	ホフット
	イ	ホコ子
	ウ	シヨール

6	—			※解答の順序は問わない。
	例	テレビを見たり、音楽を聞いたり		
	1	しました。		
	4	5		

7 2

8 4

<p>《このあたりに姓と名前を記入してください。》</p>				
<p>《ここから下には解答を書いてはいけません。》</p>				
学 校 名	組	出 席 番 号	男 女	個 人 番 号

※個人番号票を見ながら、1ますに1けたずつ、数字を書き写してください。

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

1061

小学校第6学年  
国語B 解答用紙

《このあたりには解答を書いてはいけません。》

1

一	例 作業への取り組みやすさ	12字
二	3	
三	<p>※の印から書きまじやう。とちやうと行を変えないで、続けて書きまじやう。</p> <p>例 大野さんの発言に対して質問があります。</p> <p>「去年の卒業文集には読みにくいところがありました」と言いましたが、どの部分が読みにくかったのですか。また、文字以外に読みにくいところがありましたか。</p>	

80字 100字

2

一	例 ゾウの鼻はどうして長いのか、また、長い鼻を使うことでどのようなことができるのか。	40字
二	<p>例 ※の印から書きまじやう。とちやうと行を変えないで、続けて書きまじやう。</p> <p>すぐれた鼻を使うことで、水場や食べ物をさがすことや、仲間を見つけることもできる。</p> <p>調べていくうちに新たな質問も出た。においを感じ取ることにすぐれた動物とはどのような動物かということだ。例えば、イヌはどれくらい先のにおいを感じ取るのか調べたい。</p>	

120字

②③と③の解答らんは、裏面にあります。

《このあたりには解答を書いたらしくせやう。》

《ここから下には解答を書いてはいけません。》

学校名	組	出席番号	男女	個人番号

26 国B

※個人番号票を見ながら、1ますに1けたずつ、数字を書き写してください。

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

1062

国語B

《この枠には解答を記入してはなりません》

2

三	『動物の体』の目次 … 68 ページ
	『動物図鑑』のさくじん … 69 ページ ・ 71 ページ

3

二	—	(1) ア	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
---	---	-------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

80字  
100字

《この枠には解答を記入してはなりません》



## V 点字問題（抜粋）

1

次の(一)と(二)の問いに答えましょう。

(一) 1 から3までの文の「・・・」で示した言葉の意味を答えましょう。

- 1 道路が「交差」している。
- 2 「消灯」の時間になる。
- 3 台風の「勢力」が強くなる。

(二) 次ページの1から3までの文の「・・・」で示した部分と同じ漢字を用いるものを、あとのアからエまでの中からそれぞれ一つ選んで、その記号を書きましょう。

- |   |            |   |            |   |          |
|---|------------|---|------------|---|----------|
| 1 | りよう「り」をのせた | 2 | 「しょう」りを祝う。 | 3 | かぜを      |
|   | 皿を運ぶ。      |   |            |   | 「よ」ぼうする。 |

- |   |          |   |           |   |          |
|---|----------|---|-----------|---|----------|
| ア | ちよう「り」だい | ア | 「しょう」がくせい | ア | 「よ」ぞら    |
| イ | べん「り」    | イ | せい「しょう」ねん | イ | 「よ」ていひよう |
| ウ | ふ「り」     | ウ | けっ「しょう」せん | ウ | 「よ」きん    |
| エ | いち「り」づか  | エ | じゅ「しょう」しき | エ | 「よ」けい    |

解答類型（点字問題部分）

A 主として「知識」に関する問題

問題番号		解 答 類 型		正答
1	(一) 1	1	「交わる」という意味が含まれているもの	◎
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	
	(一) 2	1	「明かりを消す」という意味が含まれているもの	◎
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	
	(一) 3	1	「勢い」という意味が含まれているもの	◎
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	
	(二) 1	1	ア と解答しているもの	◎
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	
	(二) 2	1	ウ と解答しているもの	◎
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	
	(二) 3	1	イ と解答しているもの	◎
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

## 巻末資料

### 【本調査の実施において参考となる過去の調査】

調査名	実施時期	対象学年	調査対象児童数
昭和31年度 全国学力調査	昭和31年 9 月	第 6 学年	71,367 人
昭和34年度 全国学力調査	昭和34年 9 月	第 6 学年	93,163 人
昭和36年度 全国小学校学力調査	昭和36年 9 月	第 6 学年	100,828 人
昭和37年度 全国小学校学力調査	昭和37年 7 月	第 5 学年	約387,000 人
		第 6 学年	約425,000 人
昭和39年度 全国小学校学力調査	昭和39年 6 月	第 5 学年	約335,000 人
		第 6 学年	約358,000 人
昭和41年度 全国小学校学力調査	昭和41年 6 月	第 5 学年	約331,000 人
昭和56年度 教育課程実施状況に関する総合的調査研究	昭和57年 2 月	第 5 学年	約16,000 人
		第 6 学年	約16,000 人
平成 5 年度 教育課程実施状況に関する総合的調査研究	平成 6 年 2 月	第 5 学年	約16,000 人
		第 6 学年	約16,000 人
平成13年度 小中学校教育課程実施状況調査	平成14年 2 月	第 5 学年	1 冊子当たり 約16,000 人
		第 6 学年	1 冊子当たり 約16,000 人
平成15年度 小・中学校教育課程実施状況調査	平成16年 2 月	第 5 学年	1 冊子当たり 約16,000 人
		第 6 学年	1 冊子当たり 約16,000 人
平成16年度 特定の課題に関する調査	平成17年 2 月	第 4 学年	約3,000 人
		第 5 学年	約3,000 人
		第 6 学年	約3,000 人
平成19年度 全国学力・学習状況調査	平成19年 4 月	第 6 学年	1,176,802 人
平成20年度 全国学力・学習状況調査	平成20年 4 月	第 6 学年	1,193,590 人
平成21年度 全国学力・学習状況調査	平成21年 4 月	第 6 学年	1,183,278 人
平成22年度 全国学力・学習状況調査 (抽出調査)	平成22年 4 月	第 6 学年	1,191,615 人
平成23年度 全国学力・学習状況調査 (抽出調査)	未実施	第 6 学年	
平成24年度 全国学力・学習状況調査 (抽出調査)	平成24年 4 月	第 6 学年	1,168,394 人
平成25年度 全国学力・学習状況調査	平成25年 4 月	第 6 学年	1,157,235 人

※各調査の実施時期や対象学年、問題の全体構成等が異なるため、単純な比較ができないことに留意する必要がある。

### 【参考文献】

- ・文部科学省「小学校学習指導要領」 平成20年 3 月告示
- ・文部科学省「小学校学習指導要領解説 国語編」 平成20年 8 月
- ・全国的な学力調査の実施方法等に関する専門家検討会議「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について（報告）」 平成18年 4 月25日
- ・全国的な学力調査の在り方等の検討に関する専門家会議「平成23年度以降の全国的な学力調査の在り方に関する検討のまとめ」 平成23年 3 月31日
- ・文部科学省「読解力向上に関する指導資料～PISA調査(読解力)の結果分析と改善の方向～」平成17年12月
- ・文部科学省「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【小学校版】」 平成22年12月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（小学校 国語）」 平成23年11月

- ・文部科学省 国立教育政策研究所「平成 19 年度 全国学力・学習状況調査【小学校】報告書」平成20年 1 月
- ・文部科学省 国立教育政策研究所「平成 20 年度 全国学力・学習状況調査【小学校】報告書」平成20年11月
- ・文部科学省 国立教育政策研究所「平成 21 年度 全国学力・学習状況調査【小学校】報告書」平成21年12月
- ・文部科学省 国立教育政策研究所「平成 22 年度 全国学力・学習状況調査【小学校】報告書」平成22年10月
- ・文部科学省 国立教育政策研究所「平成 24 年度 全国学力・学習状況調査【小学校】報告書」平成24年 9 月
- ・文部科学省 国立教育政策研究所「平成 25 年度 全国学力・学習状況調査 報告書 小学校 国語」平成25年 8 月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成 19 年度 全国学力・学習状況調査 解説資料 小学校 国語」平成19年 5 月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成 20 年度 全国学力・学習状況調査 解説資料 小学校 国語」平成20年 4 月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成 21 年度 全国学力・学習状況調査 解説資料 小学校 国語」平成21年 4 月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成 22 年度 全国学力・学習状況調査 解説資料 小学校 国語」平成22年 4 月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成 24 年度 全国学力・学習状況調査 解説資料 小学校 国語」平成24年 4 月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成 25 年度 全国学力・学習状況調査 解説資料 小学校 国語～一人一人の児童の学力・学習状況に応じた学習指導の改善・充実に向けて～」平成25年 4 月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「解説資料 小学校 国語」平成23年 9 月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成 21 年度 全国学力・学習状況調査【小学校】の結果を踏まえた授業アイデア例」平成21年 8 月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成 22 年度 全国学力・学習状況調査【小学校】の結果を踏まえた授業アイデア例」平成22年 8 月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成 24 年度 全国学力・学習状況調査【小学校】の結果を踏まえた授業アイデア例」平成24年 9 月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成 25 年度 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例 小学校 国語 算数」平成25年 9 月
- ・国立教育政策研究所ウェブサイト「平成 23 年度 全国学力・学習状況調査として実施予定であった調査問題を踏まえた授業アイデア例 小学校 国語」
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「全国学力・学習状況調査の 4 年間の調査結果から今後の取組が期待される内容のまとめ～児童生徒への学習指導の改善・充実に向けて～【小学校編】」平成24年 9 月
- ・文部科学省「(小学校編) 今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開 総合的な学習の時間を核とした課題発見・解決能力、論理的思考力、コミュニケーション能力等向上に関する指導資料」平成22年11月

※ これらの資料は、文部科学省及び国立教育政策研究所のウェブサイトにも公開されている。



本書の一部または全部を無断で転載，  
複製することを禁じます。